ドライバーソフトウェアガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

目次

第 3 章　基本的な印刷方法

第 4 章　印刷機能の設定

第 5 章　コンピューターからファクス送信する前に

第 6 章　基本的なファクス送信方法

第 7 章　便利なファクス機能の使い方

第 8 章　アドレス帳の使い方

第 9 章　ご使用の前に

第 10 章　スキャンする前に

第 11 章　基本的なスキャン方法

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の説明に、下記のマークを付けています。

重要
操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ
操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー：［キー名称］

  例：［オンライン］
- コンピュータ画面上のボタン：［ボタン名称］

  例：［OK］

  ［設定］
- コンピュータ画面上のアイコン：＜アイコン＞＋（アイコン名称）

  例：（スタート）

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。



操作時にクリックするボタン

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7

商標について

Windows、Windows ロゴ、Windows Vista、Windows Vista ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

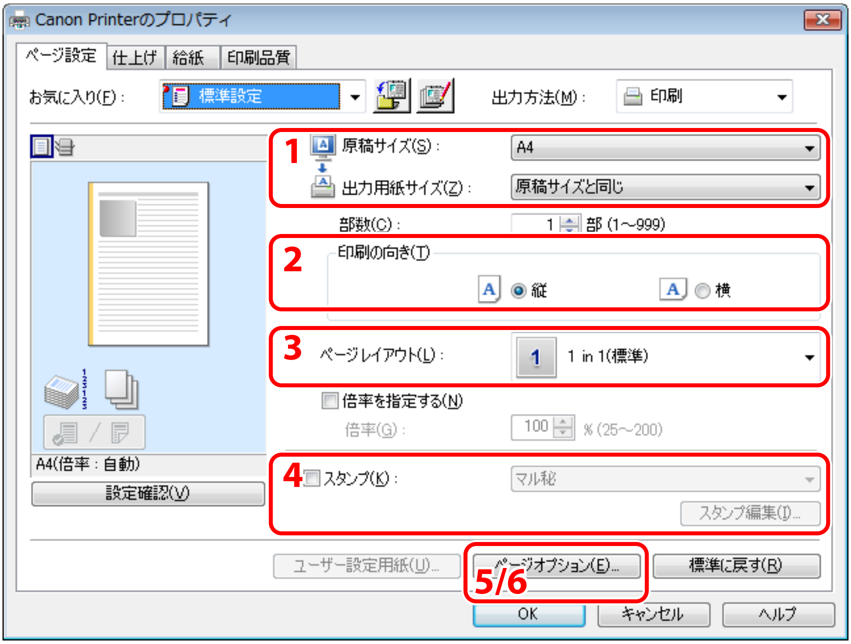
1

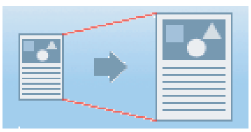
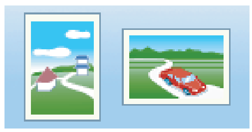
CHAPTER

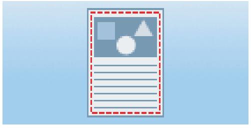
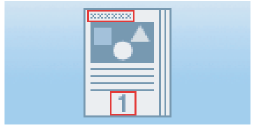
印刷機能の紹介

プリンタードライバー画面で設定できる印刷機能を紹介します。 お使いの機種により、プリンタードライバー画面の表示内容、および使用できる機能は異なります。

［ページ設定］ページ

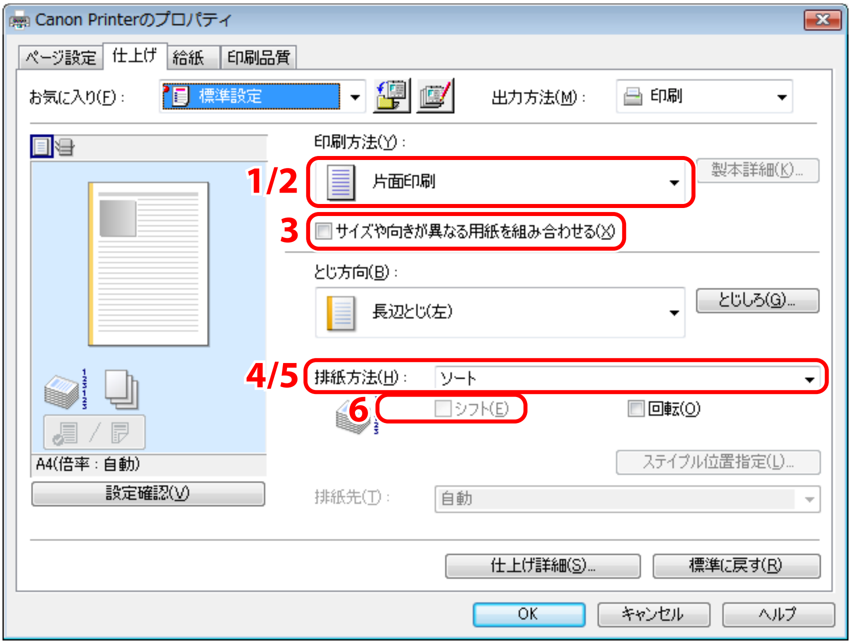


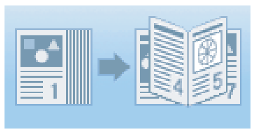
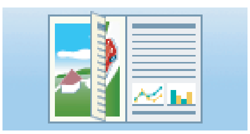
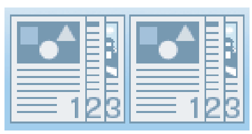
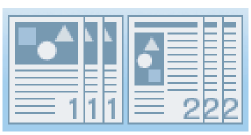
1. 出力用紙サイズ 	実際にプリンターから出力する用紙サイズを選択します。用紙サイズに合わせて、印刷データを拡大／縮小できます。 (「→拡大／縮小して印刷する（→ P. 4-2)」)	**2. 印刷の向き** 	用紙の方向に対する印刷の向きを設定します。
3. 割り付け印刷 	複数ページを用紙 1 枚に配置して印刷します。 (→「複数ページを 1 枚の用紙に印刷する（→ P. 4-6)」)	**4. スタンプ印刷** 	用紙にスタンプ (「COPY」などの透かし文字) を重ね合わせて印刷します。 (→「スタンプ印刷を行う（→ P. 4-16)」)

5. ページ枠 	ページ枠を付けて印刷します。	**6. ヘッダ / フッタ** 	日付やページ番号などのヘッダ / フッタを付けて印刷します。

メモ
画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

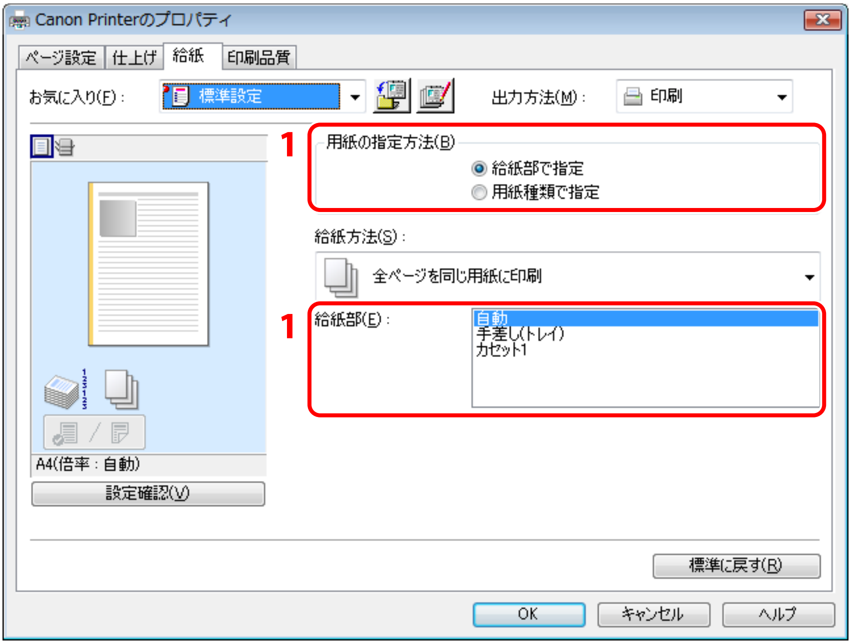
［仕上げ］ページ



1. 両面印刷 	用紙の表と裏に印刷を行います。 （→「両面印刷を行う（→ P. 4-9）」）	**2. 製本印刷** 	出力された用紙をまとめて製本できるように、ページを割り付けて印刷します。 （→「製本印刷を行う（→ P. 4-12）」）
3. サイズ／向き混在 	用紙サイズ／向きが異なるページが混在する場合に、とじ方向をそろえます。	**4. ソート** 	複数部数を印刷する場合に、部単位でページ順に排紙します。
5. グループ 	複数部数を印刷する場合に、同じページ番号ごとに指定部数を排紙します。	**6. シフト** 	一部ずつ交互にずらして排紙します。

メモ
画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

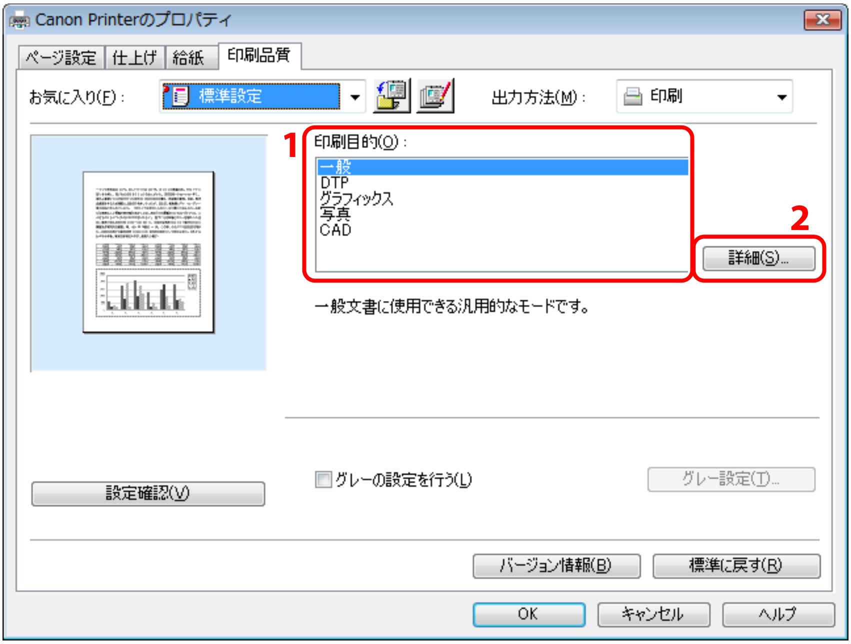
［給紙］ページ

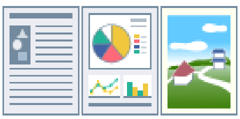
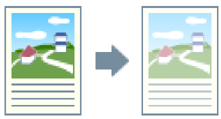


1. 用紙の指定 	特定の用紙に印刷したい場合、その用紙がセットされている給紙部、またはその用紙種類を指定します。

メモ
画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

［印刷品質］ページ

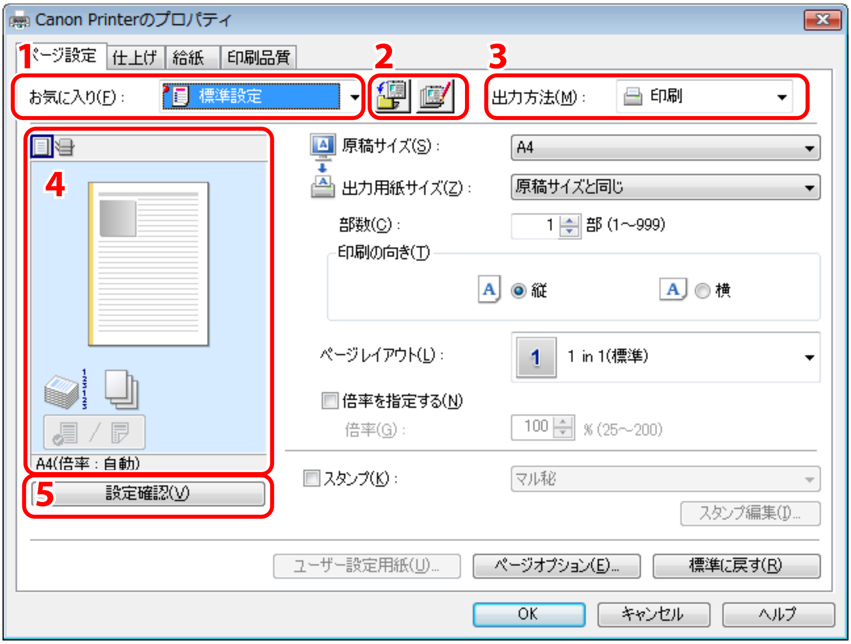


1. 印刷目的 	ファイルの内容に合った適切な設定を簡単に行います。	**2. トナー節約** 	トナー使用量を節約して印刷します。

メモ
画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

各ページ共通機能

［ページ設定］／［仕上げ］／［給紙］／［印刷品質］の各ページで、次の設定ができます。

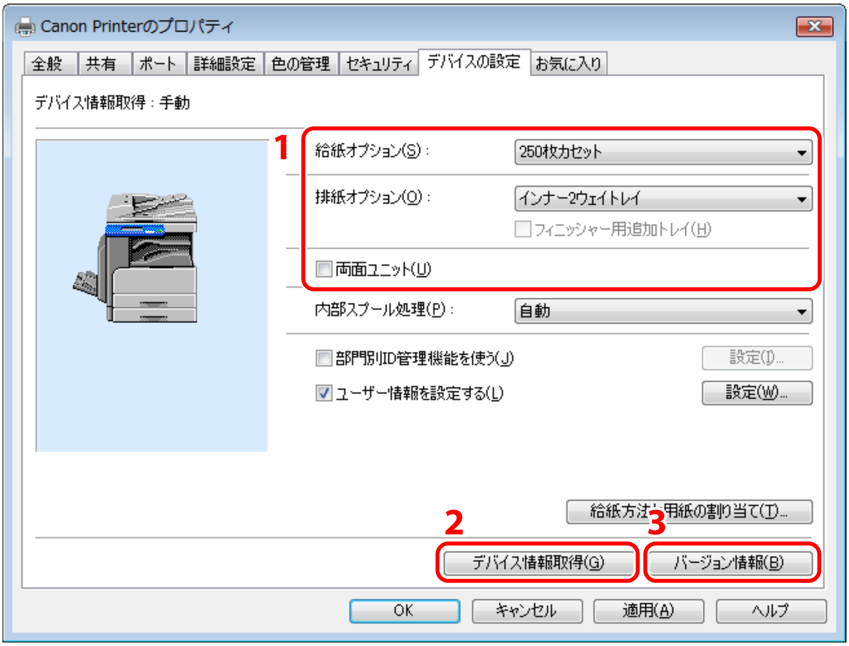


1. お気に入り	よく使う設定を「お気に入り」として登録できます。「お気に入り」を選択するだけで、登録した設定を呼び出すことができます。 （→「「お気に入り」を選択して印刷する（→ P. 4-22）」）	**2. お気に入りの追加 / 編集**	「お気に入り」の追加登録、編集ができます。

3. 出力方法の変更	印刷データの出力方法を変更できます。 例） ［保存］：プリンターのメモリー領域にデータを保存できます。 ［編集＋プレビュー］：複数の印刷データをひとつに結合できます。（→「複数のファイルをまとめて印刷する（→ P. 4-18）」）	**4. プレビュー**	現在の設定による出力イメージが表示されます。
5. 設定確認	現在の設定内容を確認できます。		

メモ
画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

［デバイスの設定］ページ



1. オプションの設定	プリンター本体に装着されているオプション（給紙カセット、フィニッシャーなど）を設定します。	**2. デバイス情報の取得**	本体の情報を自動的に取得して、この画面の設定内容を更新します。（→「プリンターのオプション設定をする（→ P. 2-5）」）
3. バージョン情報の表示	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。		

メモ
［デバイスの設定］ページを表示するには、［コントロールパネル］からプリンターのプロパティ画面を表示したあと、［デバイスの設定］タブをクリックします。詳細は、「プリンターのオプション設定をする（→ P. 2-5）」を参照してください。

コンピューターから印刷する前に

2 CHAPTER

コンピューターから印刷する前に行う作業について説明します。

必要なシステム環境

プリンタードライバーをお使いになるには、次のシステム環境が必要です。

OS

- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Server 2003
- Windows Server 2008
- Windows Vista
- Windows 7

コンピューター

- 上記 OS が動作するコンピューター

メモリー

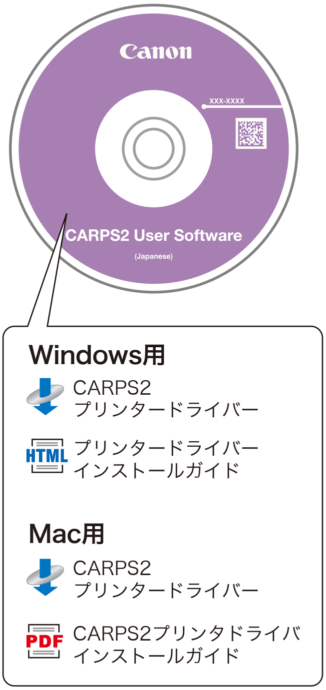
- 上記 OS が動作するために必要なメモリー

メモ
お使いのプリンタードライバーのバージョンによって、サポートする OS が異なることがあります。

適切なプリンタードライバーを選択する

プリンタードライバーは、User Software CD-ROM に収録されています。

CD-ROM の内容



プリンタードライバーの特長

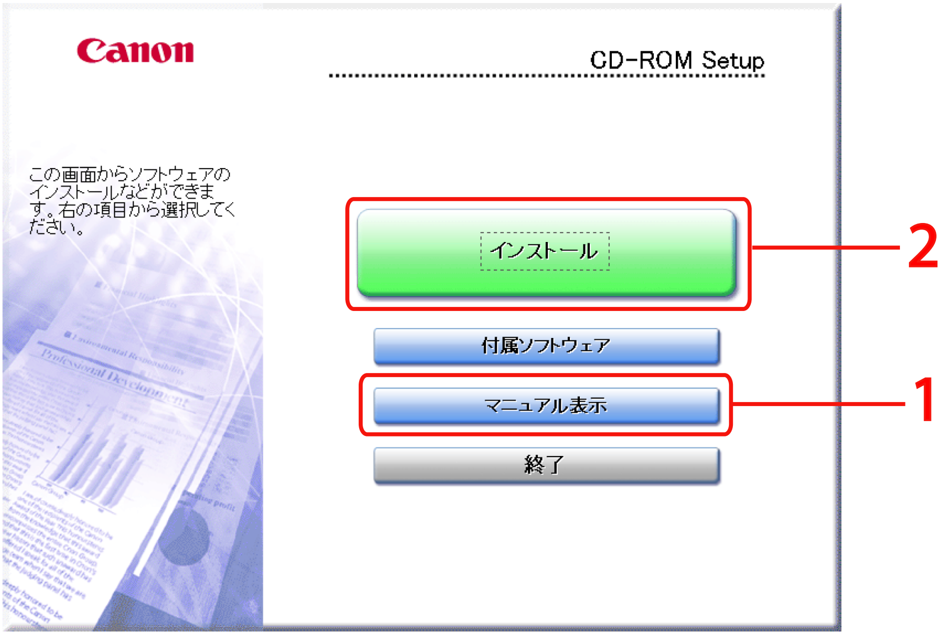
- CARPS2 プリンタードライバー
  印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負荷分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作を実現します。

メモ
• 付属する CD-ROM は、お使いの製品、システム環境によって異なります。 • Mac 用ドライバーの使用方法については、ドライバー付属のインストールガイドまたはヘルプをご覧ください。

インストールする

User Software CD-ROM のメニュー画面から、プリンタードライバーのインストール、および「プリンタードライバーインストールガイド」の表示ができます。

CD-ROM メニュー画面



1	［マニュアル表示］	「プリンタードライバーインストールガイド」を参照するとき、最初にクリックします。インストール開始後は、インストールガイドを表示できません。
2	［インストール］	プリンタードライバーをインストールするときにクリックします。

プリンターのオプション設定をする

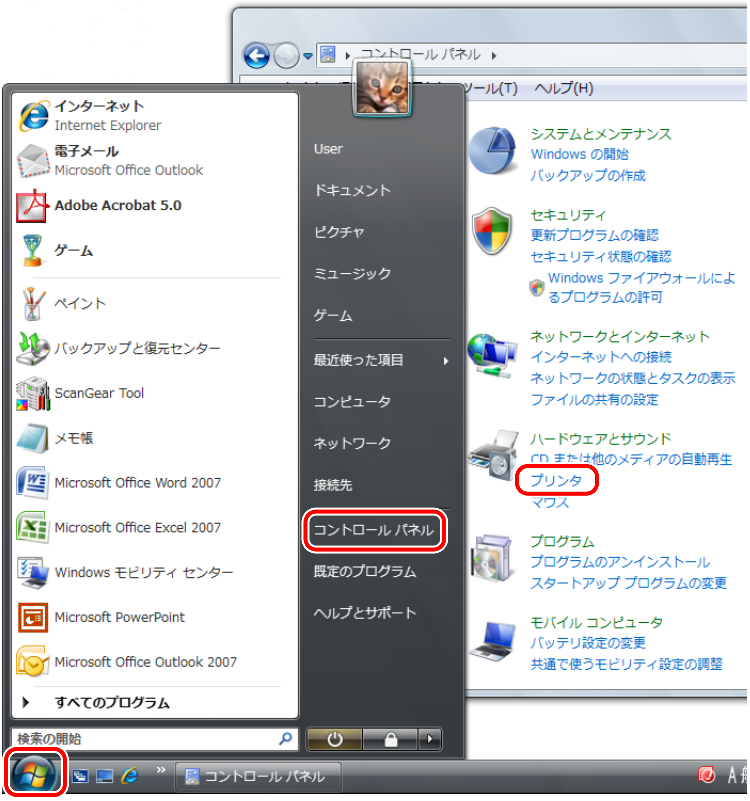
プリンター本体に装着されているオプション（給紙カセット、フィニッシャーなど）を使用して印刷するには、あらかじめプリンタードライバーでオプション設定をしておく必要があります。

通常、オプション設定は、ドライバーのインストール時に自動的に行われます。インストール時に設定が行われなかった場合、またはオプションを使用して印刷ができない場合は、次の操作を行って設定してください。

重要
コンピューターに Administrators または Power Users のメンバーとしてログオンしてください。

1.

［ ］（スタート）→［コントロールパネル］→［プリンタ］をクリックします。

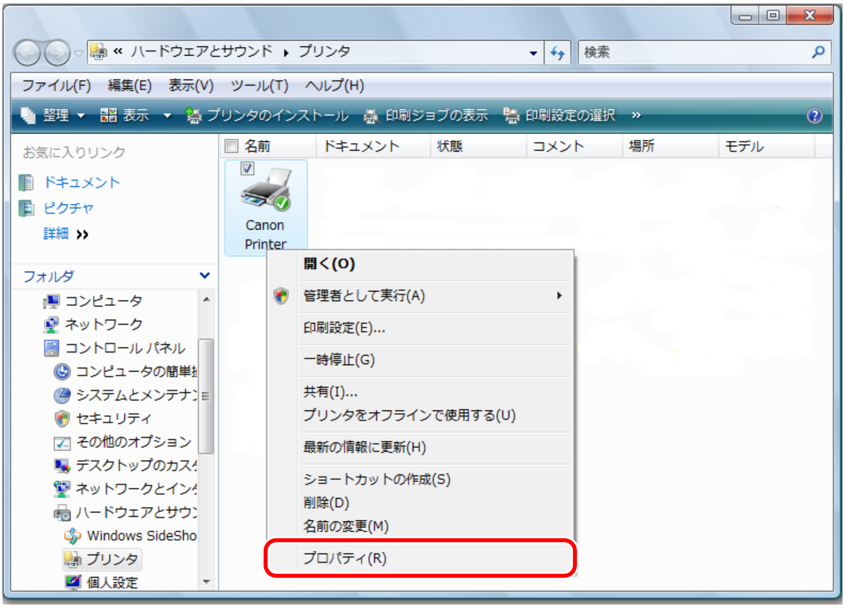


メモ

- Windows 7 の場合は、［ ］（スタート）→［デバイスとプリンター］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］→［プリンタと FAX］（または［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］）をクリックします。
- Windows 2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。

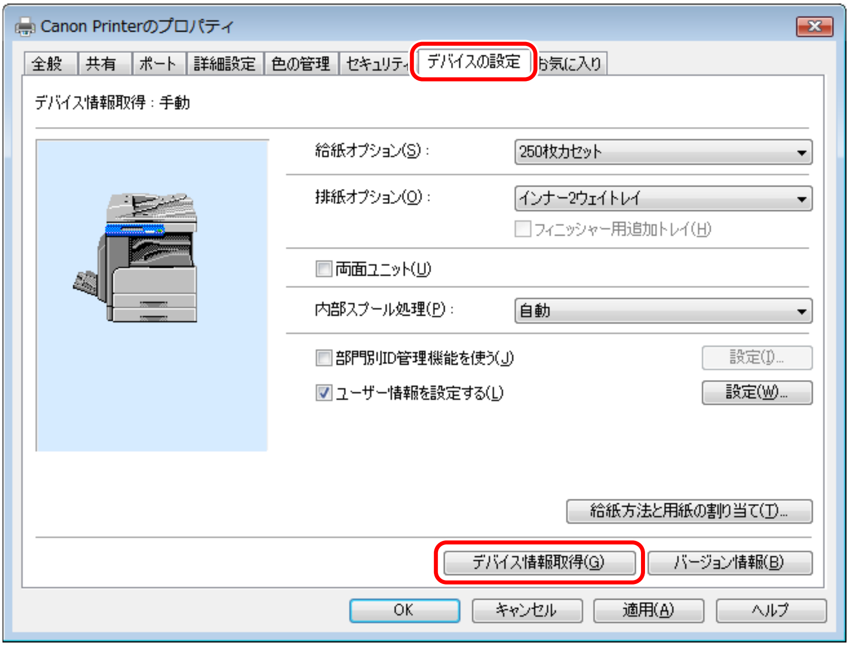
2.

設定を行うプリンターのアイコンを右クリックしたあと、［プロパティ］をクリックします。



3.

［デバイスの設定］をクリックしたあと、［デバイス情報取得］をクリックします。



本体から取得したオプション情報が設定されます。

4.

本体に装着されているオプションが設定されていることを確認したあと、［OK］をクリックします。

メモ

- プリンターを共有してお使いの場合は、プリントサーバーに「Canon Driver Information Assist Service」をインストールすると、［デバイス情報取得］の機能をお使いになれます。「Canon Driver Information Assist Service」のインストール方法については、「プリンタードライバー インストールガイド」を参照してください。
- デバイス情報取得がエラーになった場合は、本体に装着されているオプション（給紙カセット、フィニッシャーなど）を手動で設定してください。
- USB または WSD（Web Services on Devices）ポートを使用してプリンターを接続している場合は、デバイス情報取得機能は使用できません。本体のオプションを手動で設定してください。
- お使いの機種によっては、［デバイス機能］をクリックして機能バージョンを設定する必要があります。
  機能バージョンは、本体のパネルから印刷するステータスプリントにより確認できます。ステータスプリ
  ントに機能バージョンが記載されていない場合は、［なし］を選択してください。
- お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

その他の付属ソフトウェアについて

User Software CD-ROM には、次のソフトウェアも収録されています。お使いのシステム環境により、付属するソフトウェアは異なります。

FontGallery

FontGallery（CD-ROM\FGALLERY フォルダー）には、和文書体、かな書体、欧文書体が収められています。これらのフォントを利用することにより、より多彩な文字表現が可能になります。また、欧文書体には、ユーロフォントも含まれていますので、アクセント記号や特殊な記号を表現することもできます。

インストール方法については、README.TXT を参照してください。

メモ
• Windows Vista/Server 2008/7 には対応していません。

NetSpot Device Installer

ネットワークに接続されたキヤノン製デバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティーソフトウェアです。NetSpot Device Installer は、コンピューターへのインストールが不要で、簡単にデバイスの初期設定を行うことができます。

最新の NetSpot Device Installer に関する情報は、キヤノンホームページ（http://canon.jp）でご確認ください。

3
CHAPTER

基本的な印刷方法

印刷の基本操作を説明します。

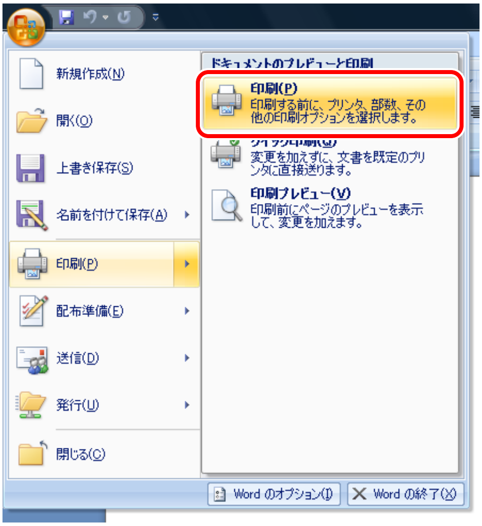
印刷する

プリンタードライバーを使用して印刷する、基本的な操作の流れを説明します。

メモ
印刷する手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

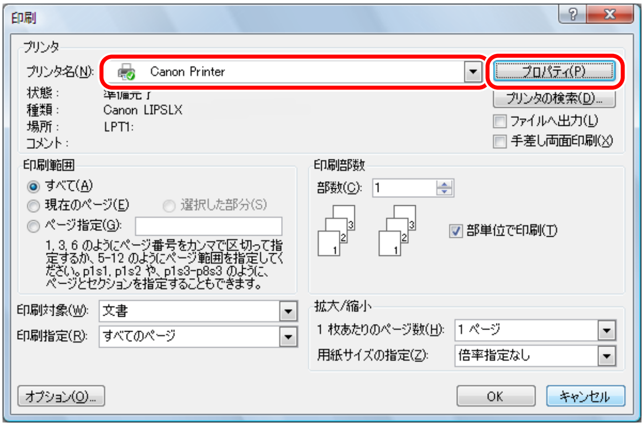
1.

アプリケーションソフトウェアのメニューから［印刷］を選択します。



2.

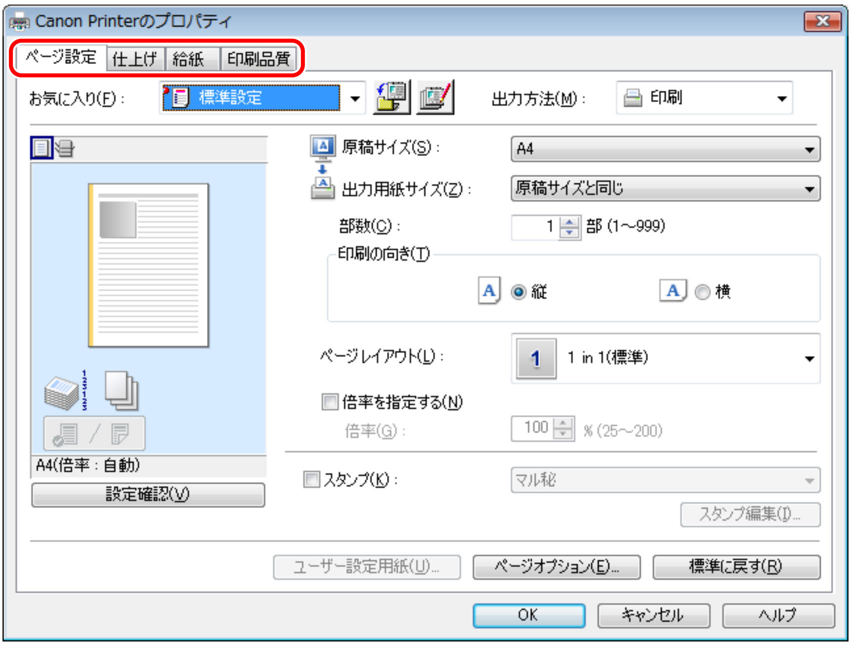
お使いのプリンターを選択したあと、[詳細設定]（または［プロパティ］）をクリックします。



3.

プリンタードライバーの印刷設定画面で、必要に応じた機能を設定したあと、[OK] をクリックします。

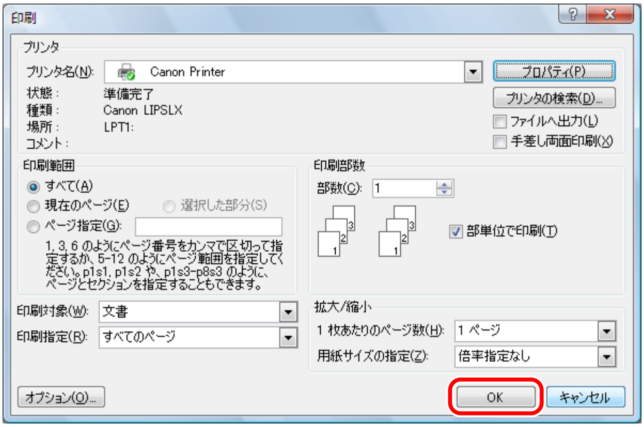
[ページ設定] ／ [仕上げ] ／ [給紙] ／ [印刷品質] の各タブをクリックして、必要な項目を設定します。



メモ
設定できる機能については、「印刷機能の紹介（→ P. 1-1）」やヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」）

4.

［印刷］（または［OK］）をクリックします。



印刷が開始されます。

メモ
• お使いの機種によっては、本体のシステム状況／中止画面から印刷を中止することもできます。（→「CARPS2 プリンタガイド」） • 画面の右下にあるタスクトレイにプリンターアイコンが表示されている場合、コンピューターから印刷を中止できます。中止するには、プリンターアイコンをダブルクリックしたあと、中止したいファ イル名→［ドキュメント］→［キャンセル］をクリックします。

あらかじめ印刷の設定をする

［コントロールパネル］から印刷設定画面を表示して、あらかじめ設定をしておく手順を説明します。

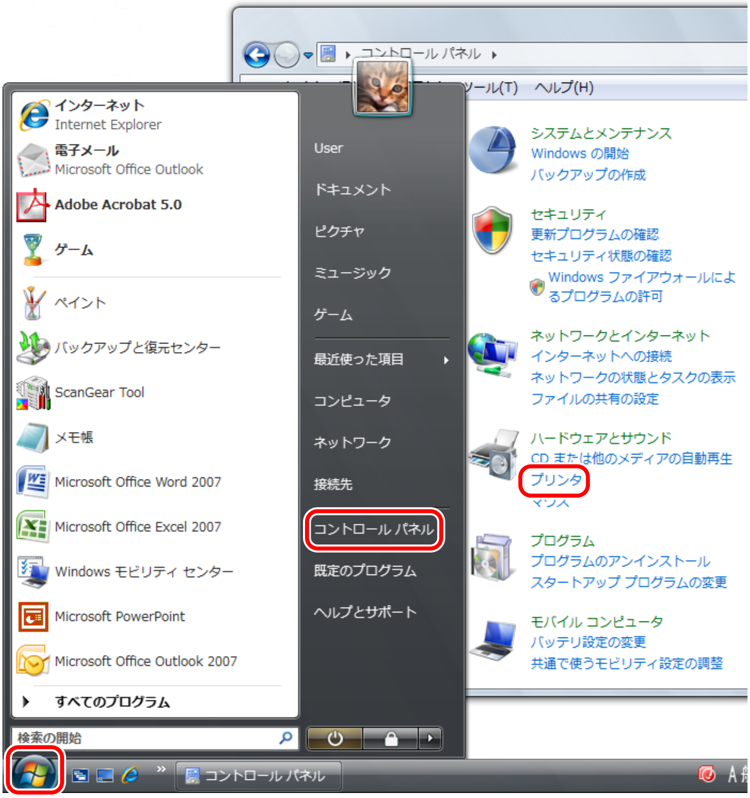
あらかじめ設定を行ったプリンターでは、常に同じ設定で印刷されます。通常使う印刷機能（両面印刷、用紙 1 枚に 2 ページずつ印刷など）を設定しておくと、印刷時に行う設定が少なくなって便利です。

印刷時に、必要に応じてあらかじめ行った設定を変更することもできます。変更する場合は、アプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示して設定します。（→「印刷する（→ P. 3-2）」）

重要
コンピューターに Administrators または Power Users のメンバーとしてログオンしてください。

1.

［ ］（スタート）→［コントロールパネル］→［プリンタ］をクリックします。

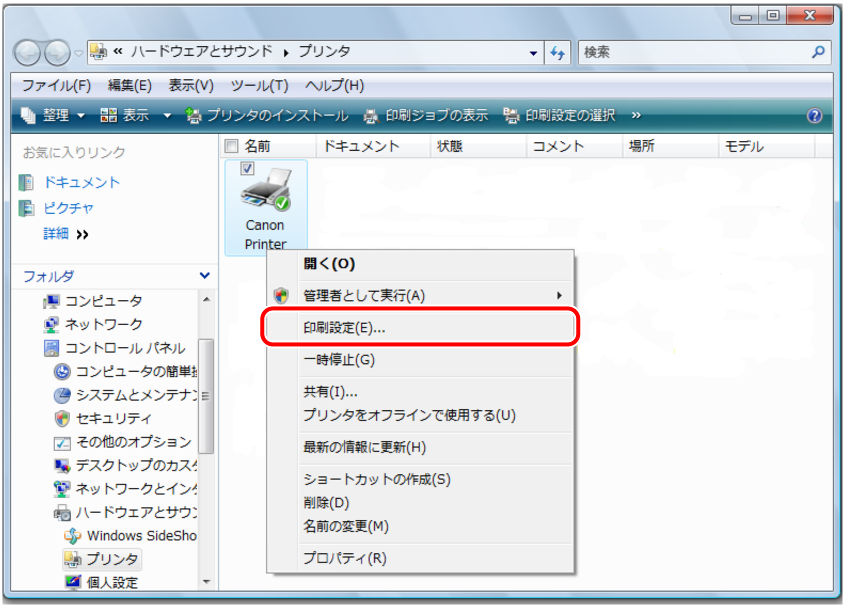


メモ

- Windows 7 の場合は、［ ］（スタート）→［デバイスとプリンター］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］→［プリンタと FAX］（または［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］）をクリックします。
- Windows 2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。

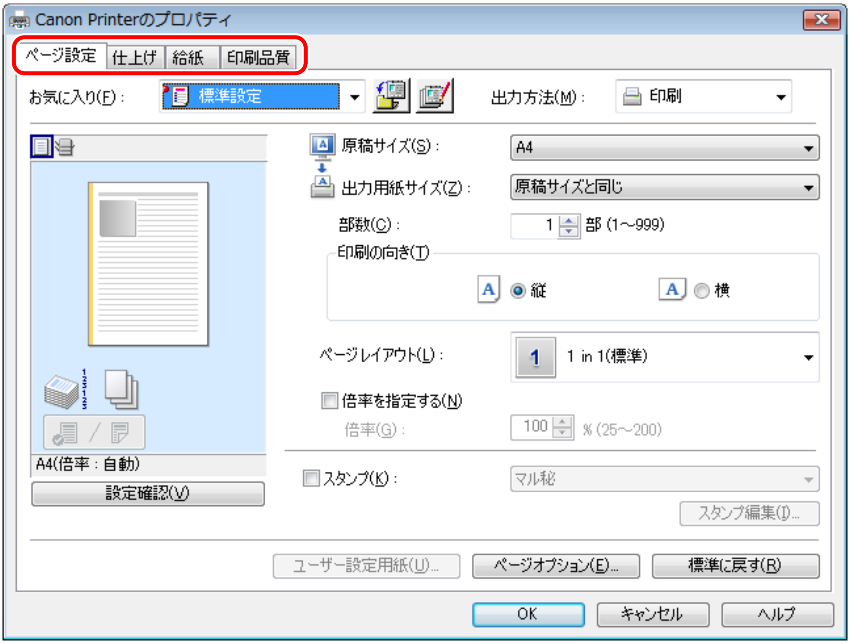
2.

設定を行うプリンターのアイコンを右クリックしたあと、［印刷設定］をクリックします。



3. プリンタードライバーの印刷設定画面で、必要に応じた機能を設定したあと、[OK] をクリックします。

[ページ設定] ／ [仕上げ] ／ [給紙] ／ [印刷品質] の各タブをクリックして、必要な項目を設定します。



メモ
設定できる機能については、「印刷機能の紹介（→ P. 1-1）」やヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」）

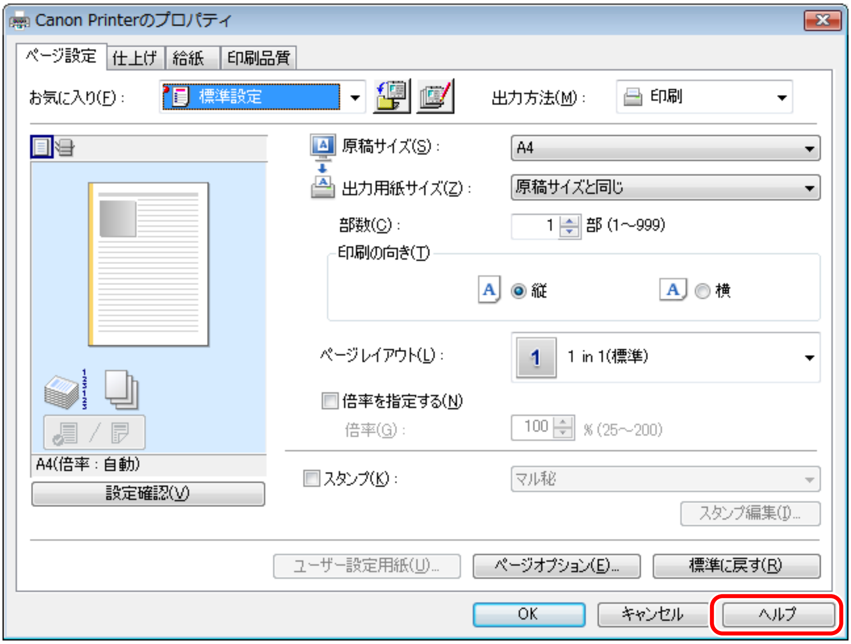
ヘルプを表示する

プリンタードライバー画面の［ヘルプ］をクリックすると、ヘルプが表示されます。

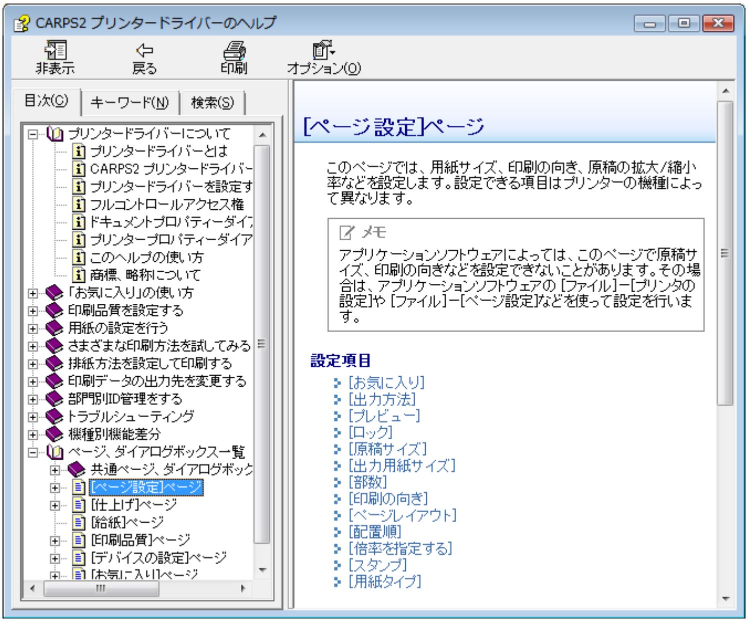
ヘルプには、すべての印刷機能について説明があります。本マニュアルに記載されていない機能の説明や設定方法を調べたいときは、ヘルプをご利用ください。

1.

［ヘルプ］をクリック



ヘルプが表示されます。



トピックペイン （右側のウィンドウ）	：説明が表示されます。
ナビゲーションペイン （左側のウィンドウ）	：調べたい内容を検索するとき、[検索] ／ [キーワード] ／ [目次] をクリックします。

印刷機能の設定

4
CHAPTER

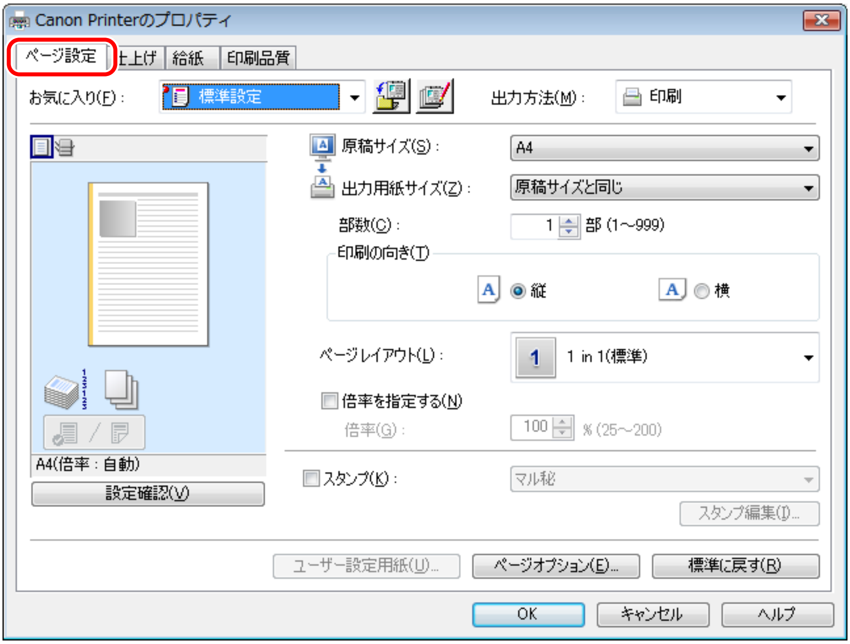
印刷機能の設定方法について説明しています。

拡大／縮小して印刷する

用紙サイズに合わせて、印刷データを拡大／縮小できます。
自動的に倍率を決定する方法と、任意の倍率を指定する方法があります。

1.

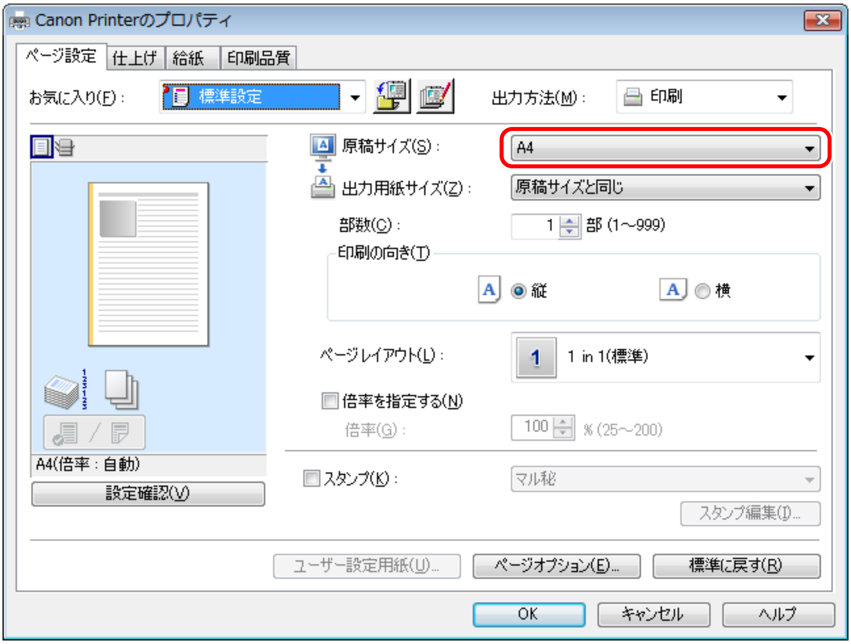
［ページ設定］をクリックします。



印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

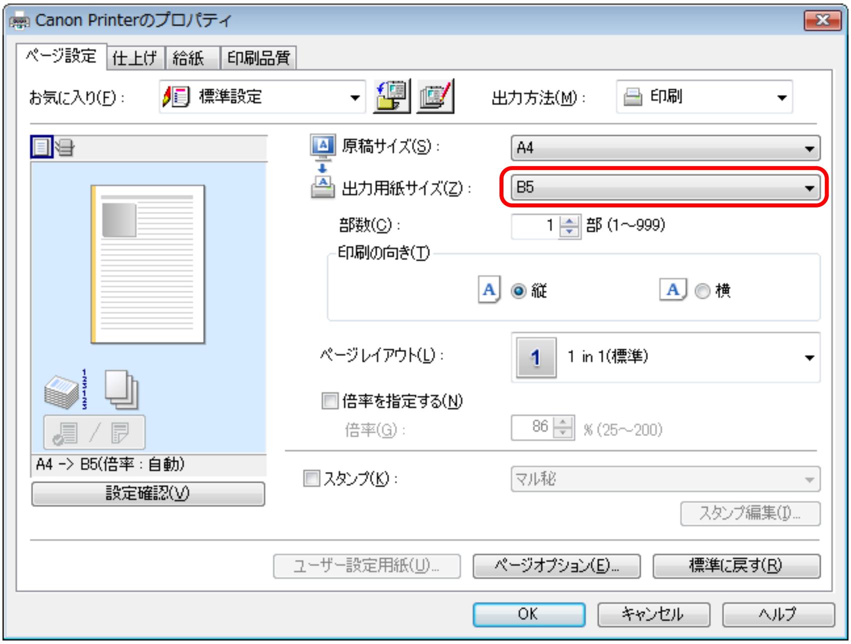
2.

［原稿サイズ］からアプリケーションソフトウェアで作成した用紙サイズを選択します。



3.

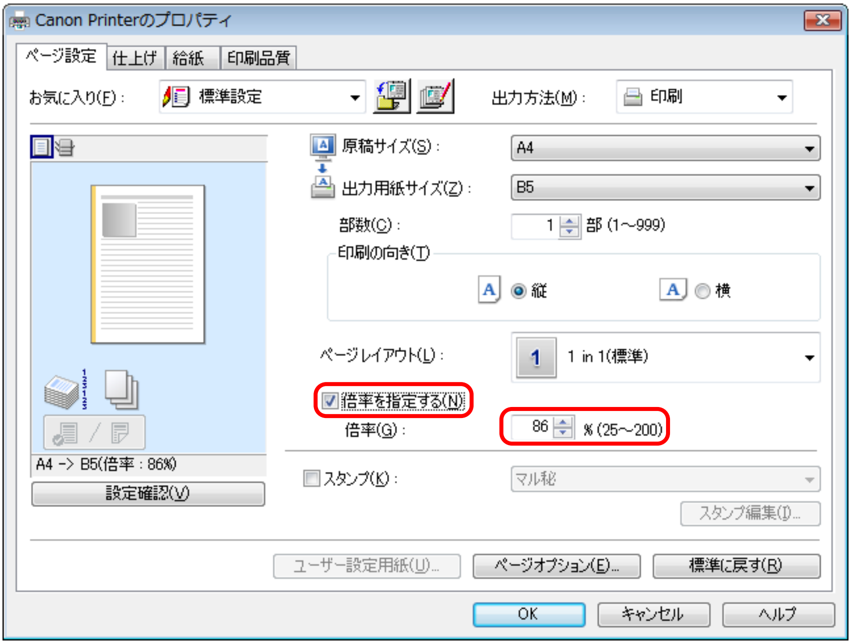
［出力用紙サイズ］から実際に印刷する用紙サイズを選択します。



選択した用紙サイズに合わせて、自動的に倍率が設定されます。

4.

任意の倍率を指定する場合は、［倍率を指定する］にチェックマークを付けたあと、［倍率］で拡大／縮小の倍率を指定します。



5.

［OK］をクリックします。

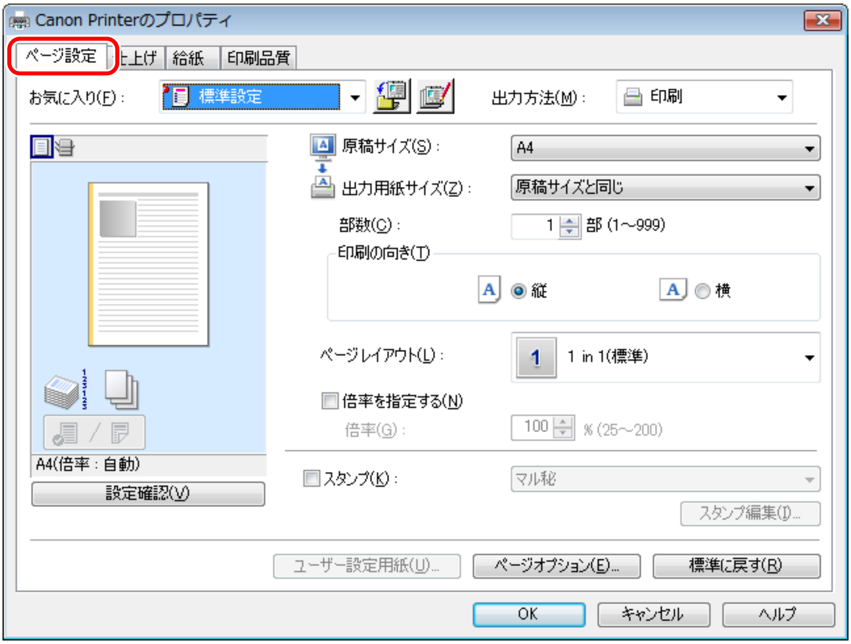
メモ
• 選択した用紙サイズやお使いのプリンターの機種によっては、適切な拡大／縮小印刷を設定できない場合があります。 • お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、アプリケーション側での拡大／縮小設定が優先される場合があります。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

複数ページを 1 枚の用紙に印刷する

複数のページを用紙 1 枚に配置して印刷できます。

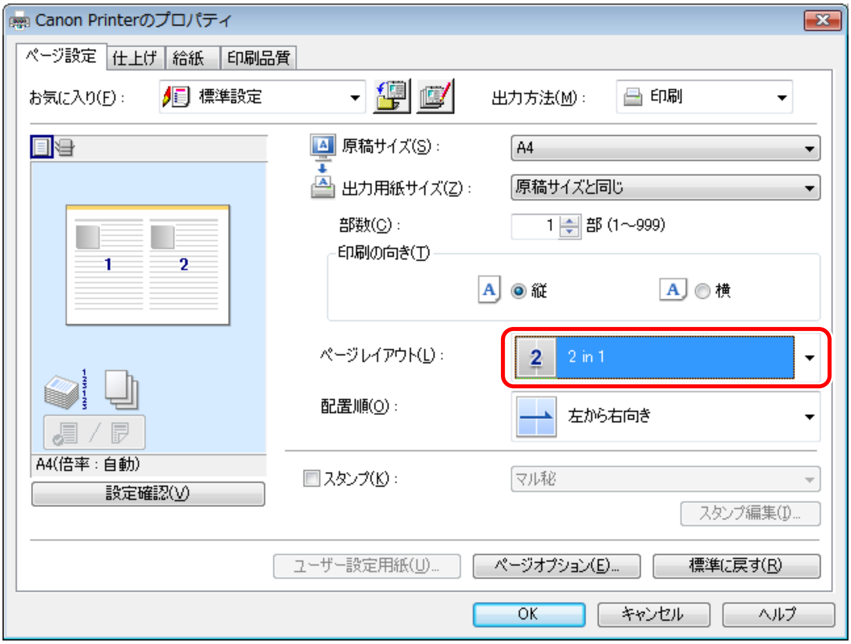
1.

［ページ設定］をクリックします。



印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

2. ［ページレイアウト］から［N in 1］（N は用紙 1 枚に配置するページ数）を選択します。

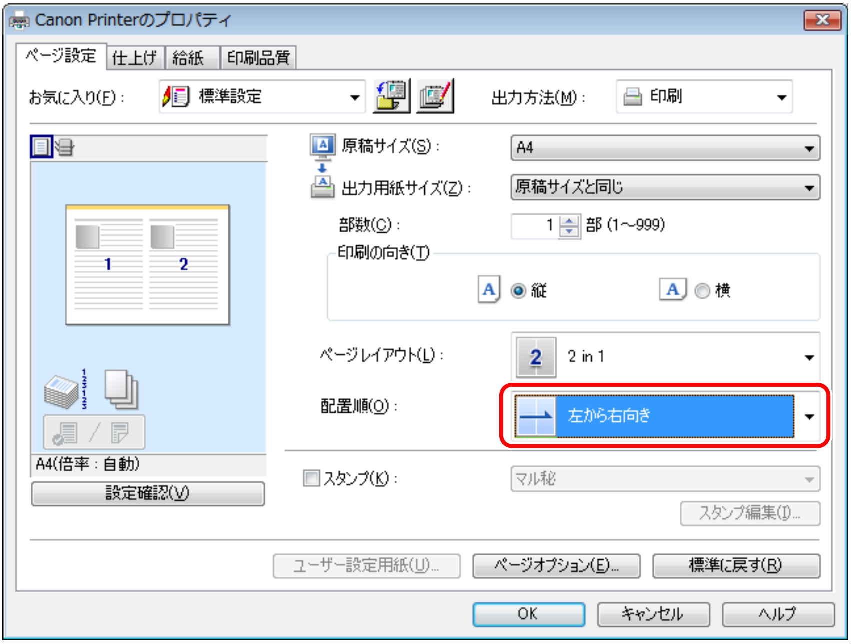


画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

メモ
［ページレイアウト］で項目が選択できない場合は、［コントロールパネル］からプリンターのプロパティ画面を表示して［デバイスの設定］タブをクリックしたあと、［内部スプール処理］から［自動］または［必ずホスト側で処理を行う］を選択してください。プリンターのプロパティ画面の表示方法については、「プリンターのオプション設定をする（→ P. 2-5）」を参照してください。

3.

［配置順］からページを配置する順序を選択します。



4.

［OK］をクリックします。

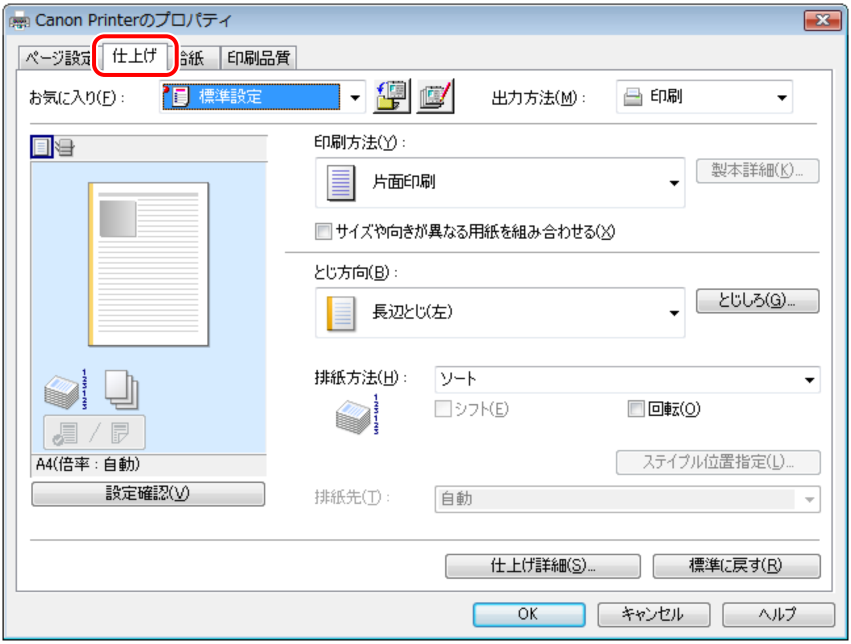
メモ
• 本機能をお使いの場合、任意の倍率で拡大／縮小できません。 • 本機能をお使いの場合、アプリケーションソフトウェア側で部単位で印刷する設定をすると、正しく印刷できないことがあります。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

両面印刷を行う

用紙の両面に印刷できます。

1.

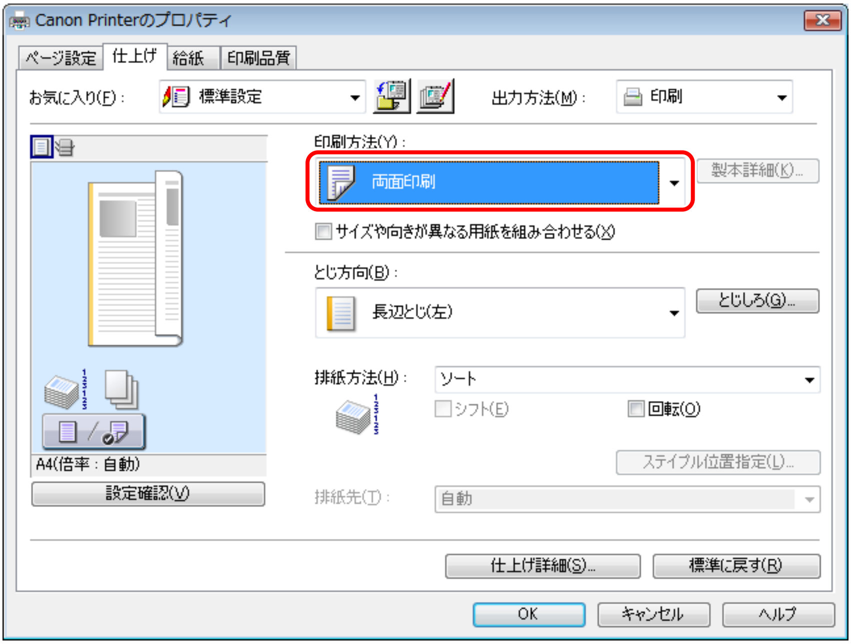
［仕上げ］をクリックします。



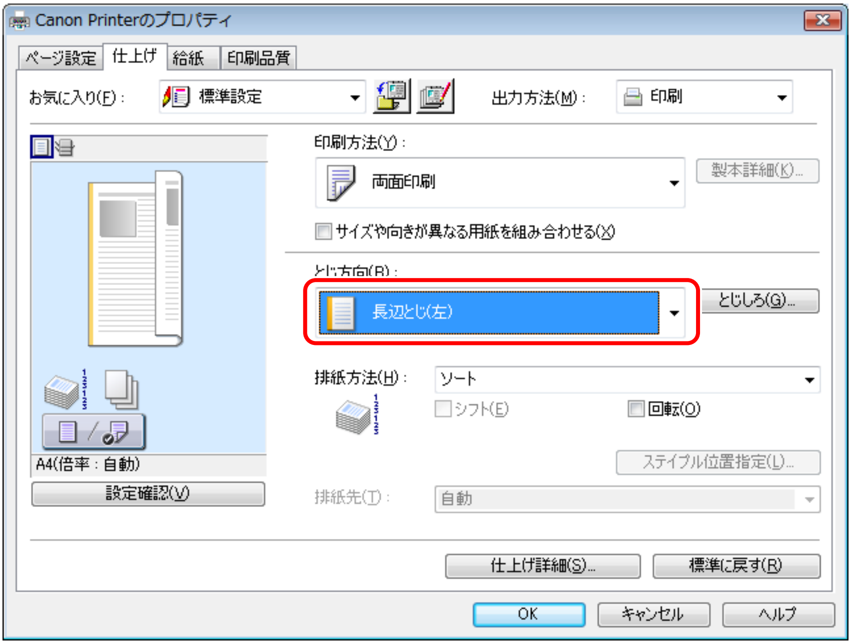
印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

2.

［印刷方法］から［両面印刷］を選択します。



3.
［とじ方向］からとじしろの位置を選択します。



画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

4.
［OK］をクリックします。

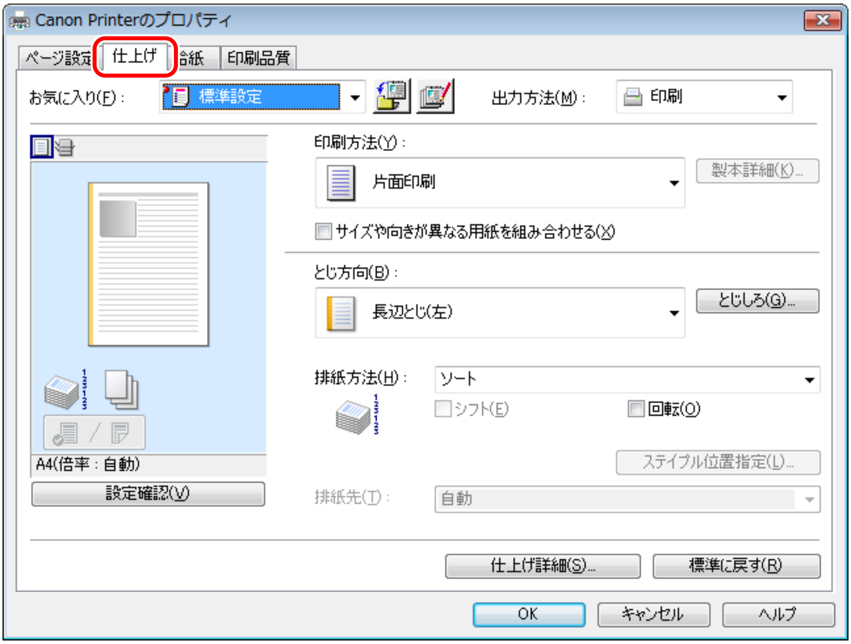
メモ
• 両面印刷に使用できる用紙サイズはお使いの機種によって異なります。詳しくはヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」） • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

製本印刷を行う

1 枚の用紙の両面に 2 ページずつ印刷して、まとめて二つ折りにすることで、小冊子を作成できます。

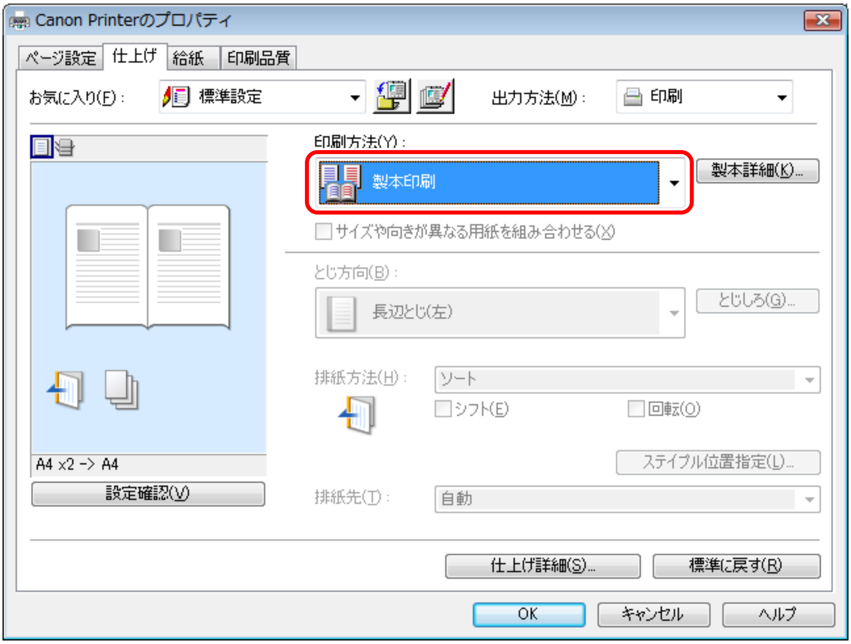
1.

［仕上げ］をクリックします。



印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

2.
［印刷方法］から［製本印刷］を選択します。



□　［製本詳細］をクリックすると表示される［製本詳細］ダイアログボックスで、製本印刷の開き方向やとじしろの幅などを設定します。

画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

メモ
［製本詳細］ダイアログボックスの各設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」）

3.
［OK］をクリックします。

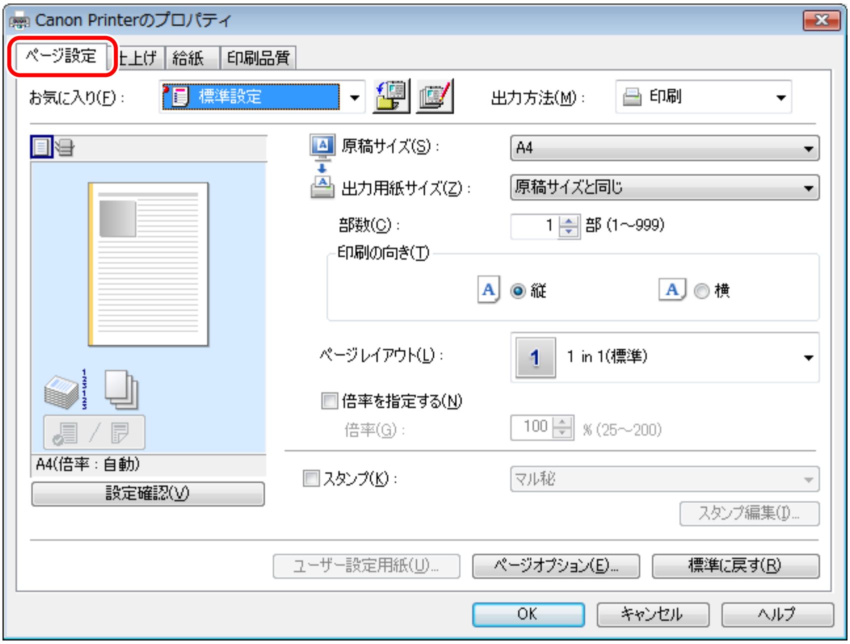
メモ
• 製本印刷時は、［仕上げ］ページの［排紙方法］を指定して出力はできません。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

ポスター印刷を行う

1 ページを拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷できます。 この複数枚の出力用紙を張り合わせると、ポスターのような大きなプリントを作成できます。

1.

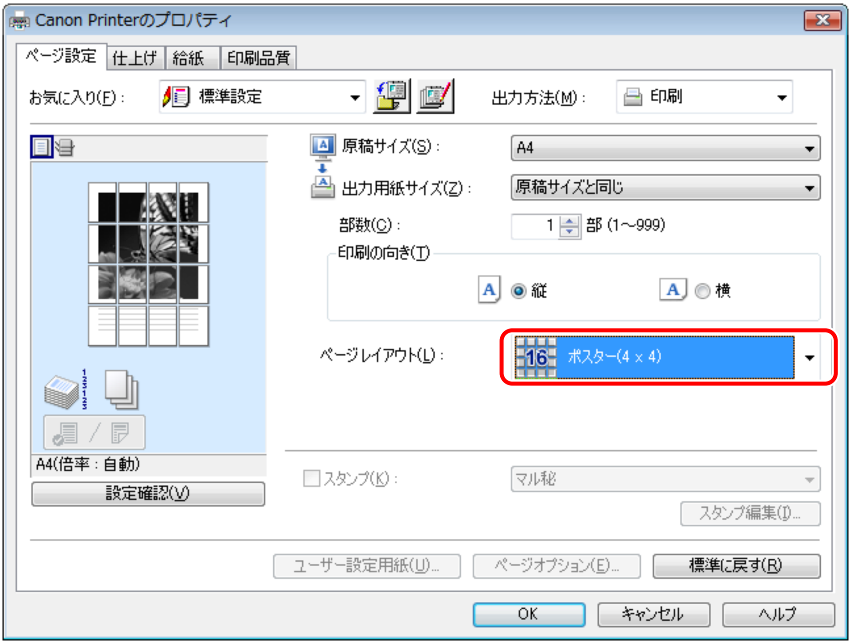
［ページ設定］をクリックします。



印刷設定画面の表示方法については､「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

2.

［ページレイアウト］から［ポスター（N x N）］（N x N は縦 x 横の分割枚数）を選択します。



画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

メモ
［ページレイアウト］で選択項目が表示されない場合は、［デバイスの設定］ページを表示して、［内部スプール処理］から［自動］または［必ずホスト側で処理を行う］を選択します。［デバイスの設定］ページの表示方法については、「プリンターのオプション設定をする（→ P. 2-5）」を参照してください。

3.

［OK］をクリックします。

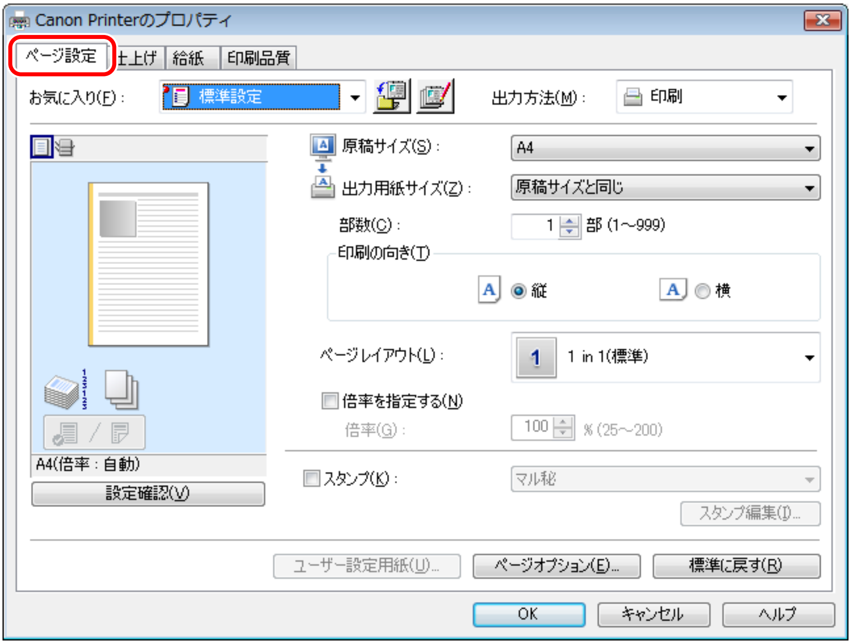
メモ
• フェイスアップで排紙される場合、出力用紙（複数枚に分割された用紙）の印刷順序は、「左から右方向」になります。 フェイスダウンで排紙されるときは、「右下から左方向」になります。 • 「スタンプ印刷を行う（→ P. 4-16）」、「拡大／縮小して印刷する（→ P. 4-2）」、「複数ページを 1 枚の用紙に印刷する（→ P. 4-6）」の機能は、ポスター印刷と組み合わせて設定できません。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

スタンプ印刷を行う

アプリケーションソフトウェアで作成したデータに、スタンプ（「マル秘」や「COPY」などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。

1.

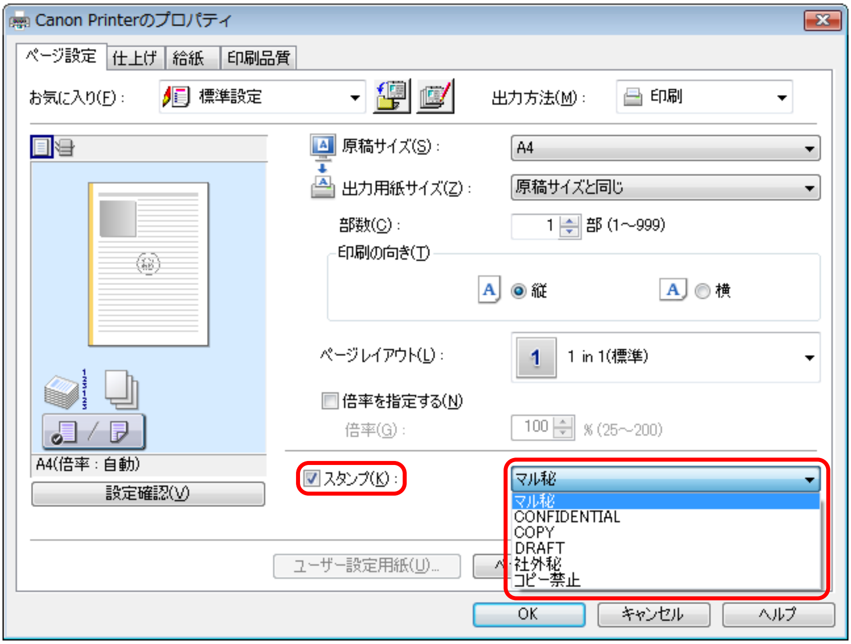
［ページ設定］をクリックします。



印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

2.

［スタンプ］にチェックマークを付けたあと、スタンプを選択します。



画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

メモ
［スタンプ編集］をクリックすると、独自のスタンプを作成して登録／編集することができます。詳細については、ヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」）

3.

［OK］をクリックします。

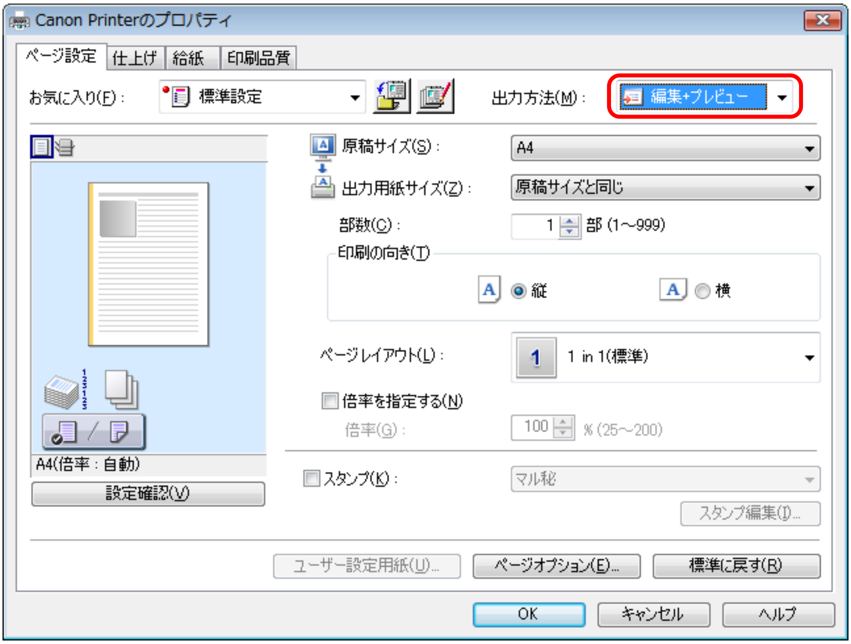
メモ
• スタンプは、あらかじめ登録されているスタンプを除き最大 50 個まで追加登録できます。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

複数のファイルをまとめて印刷する

複数のファイルをひとつのファイルに結合して印刷できます。結合したファイルの印刷設定を変更することもできます。

1.

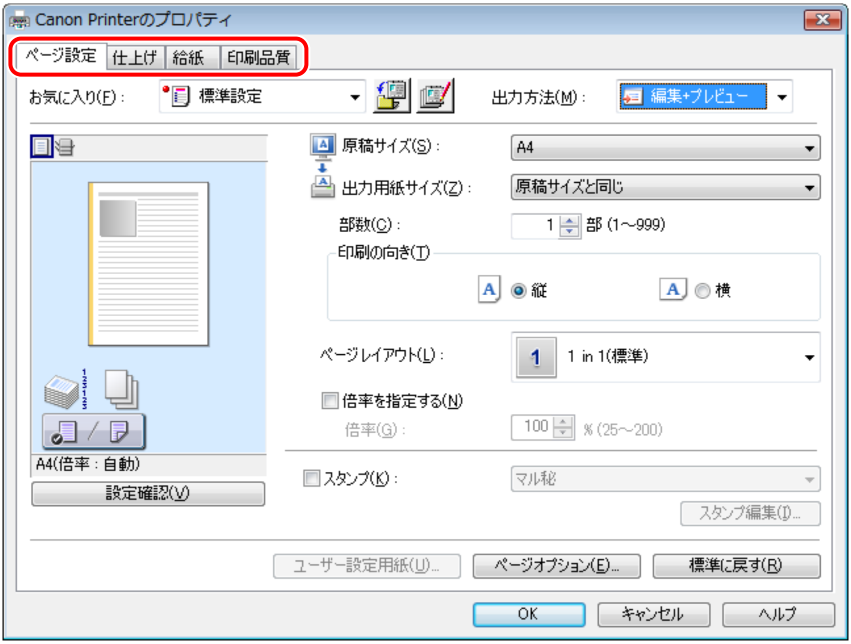
［出力方法］から［編集 + プレビュー］を選択します。



印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

2.
印刷設定画面で、必要に応じた機能を設定したあと、［OK］をクリックします。

［ページ設定］／［仕上げ］／［給紙］／［印刷品質］の各タブをクリックして、必要な項目を設定します。



メモ
設定できる機能については、「印刷機能の紹介（→ P. 1-1）」やヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」）

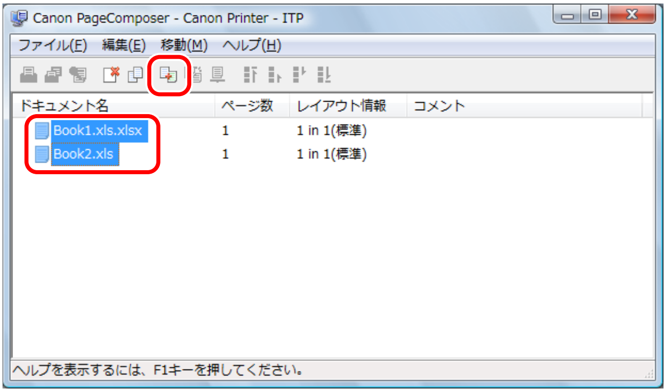
3.
［印刷］ダイアログボックスで、［OK］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示されます。

4.
まとめて印刷したいファイルについて、手順 1 ～ 3 を繰り返します。

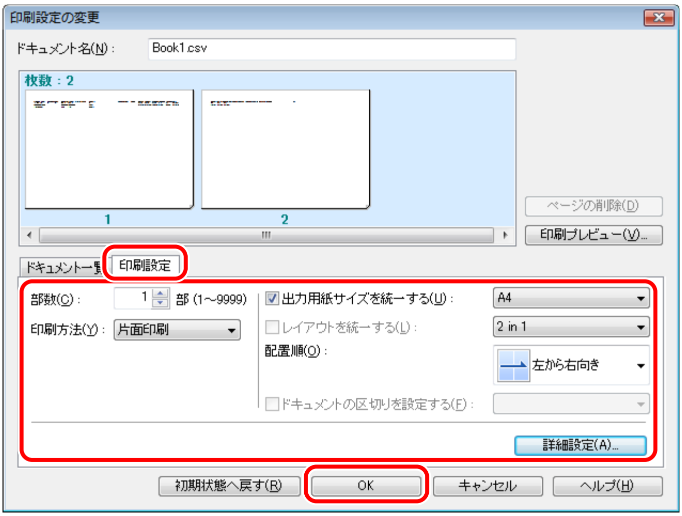
5.

［ドキュメント名］のリストからまとめたいファイルを選択したあと、［ ］（ドキュメントの結合）をクリックします。



6.

印刷設定を変更する場合は、［印刷設定］をクリックして、設定を変更したあと、［OK］をクリックします。



印刷プレビューを確認したい場合は、［印刷プレビュー］をクリックします。

7.

［ドキュメント名］のリストから印刷するファイルを選択したあと、［ ］（印刷）をクリックします。

メモ
• Canon PageComposer の設定方法の詳細については、Canon PageComposer のヘルプを参照してください。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

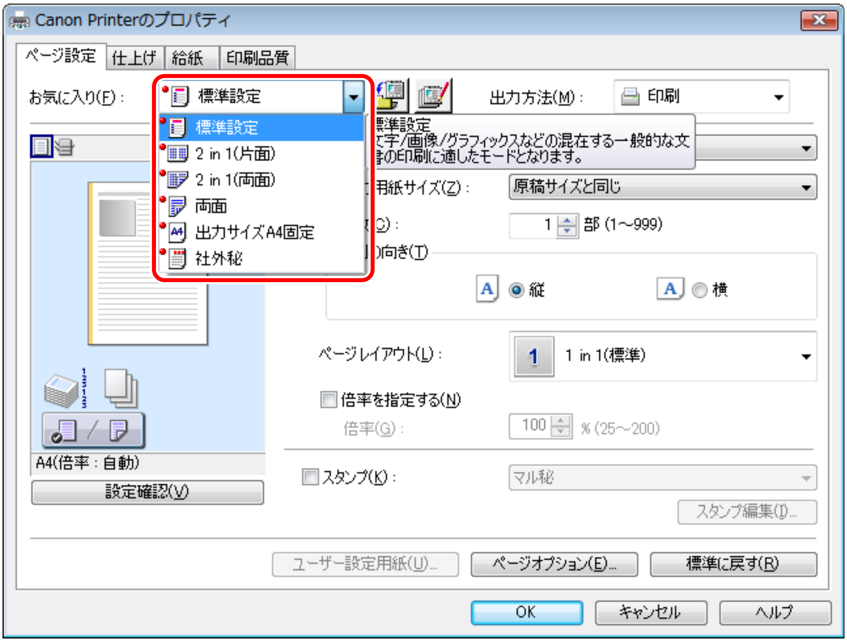
「お気に入り」を選択して印刷する

さまざまな印刷設定が「お気に入り」としてあらかじめ用意されています。[お気に入り] リストから項目を選択するだけで、目的に応じた設定ができます。

あらかじめ用意されている設定のほかにも、よく使う設定を登録しておくことができます。(→「「お気に入り」を登録する（→ P. 4-24）」)

1.

[お気に入り] から目的に応じた項目を選択します。



印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

2.
［OK］をクリックします。

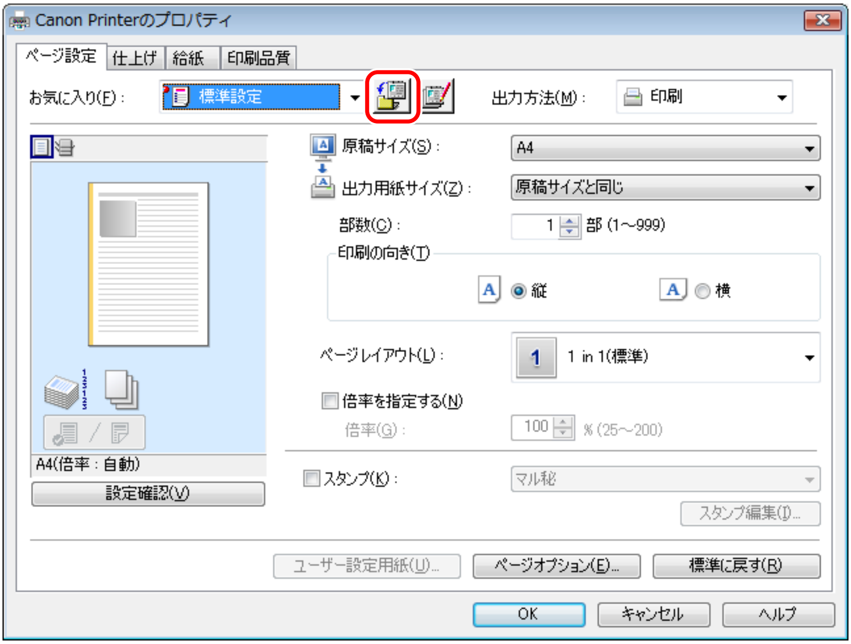
メモ
•「お気に入り」を選択できない場合は、［コントロールパネル］からプリンターのプロパティ画面を表示して［お気に入り］タブをクリックしたあと、［お気に入りの選択を許可する］にチェックマークが付いているか確認してください。プリンターのプロパティ画面の表示方法については、「プリンターのオプション設定をする（→ P. 2-5）」を参照してください。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

「お気に入り」を登録する

よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録すると、印刷時に「お気に入り」を選択するだけで、登録した設定を呼び出すことができます。

1.

プリンタードライバーの印刷設定画面で、必要に応じた機能を設定したあと、［追加］をクリックします。

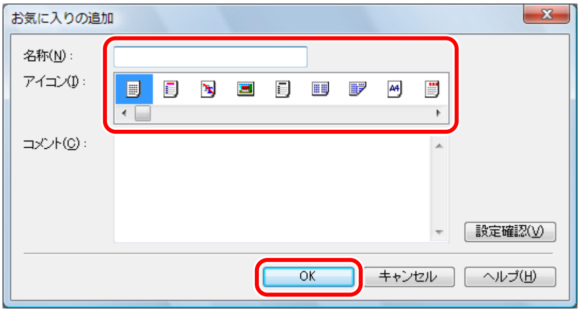


［ページ設定］／［仕上げ］／［給紙］／［印刷品質］の各タブをクリックして、必要な項目を設定します。

印刷設定画面の表示方法については、「印刷する（→ P. 3-2）」または「あらかじめ印刷の設定をする（→ P. 3-5）」を参照してください。

設定できる機能については、「印刷機能の紹介（→ P. 1-1）」やヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 3-8）」）

2. ［名称］を入力し、［アイコン］を選択したあと、［OK］をクリックします。



［コメント］は必要に応じて入力してください。

メモ
• ［お気に入り］の右側にある［編集］をクリックすると､独自に登録した「お気に入り」の名称、アイコン、コメントを変更できます。ただし、あらかじめ用意されている「お気に入り」は編集できません。 •「お気に入り」を選択できない場合は、［コントロールパネル］からプリンターのプロパティ画面を表示して［お気に入り］タブをクリックしたあと、［お気に入りの選択を許可する］および［設定の編集を許可する］にチェックマークが付いているか確認してください。プリンターのプロパティ画面の表示方法については、「プリンターのオプション設定をする（→ P. 2-5）」を参照してください。 • お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

5

CHAPTER

コンピューターからファクス送信する前に

コンピューターからファクス送信する前に行う作業について説明します。

必要なシステム環境

ファクスドライバーをお使いになるには、次のシステム環境が必要です。

OS

- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Server 2003
- Windows Server 2008
- Windows Vista
- Windows 7

コンピューター

- 上記 OS が動作するコンピューター

メモリー

- 上記 OS が動作するために必要なメモリー

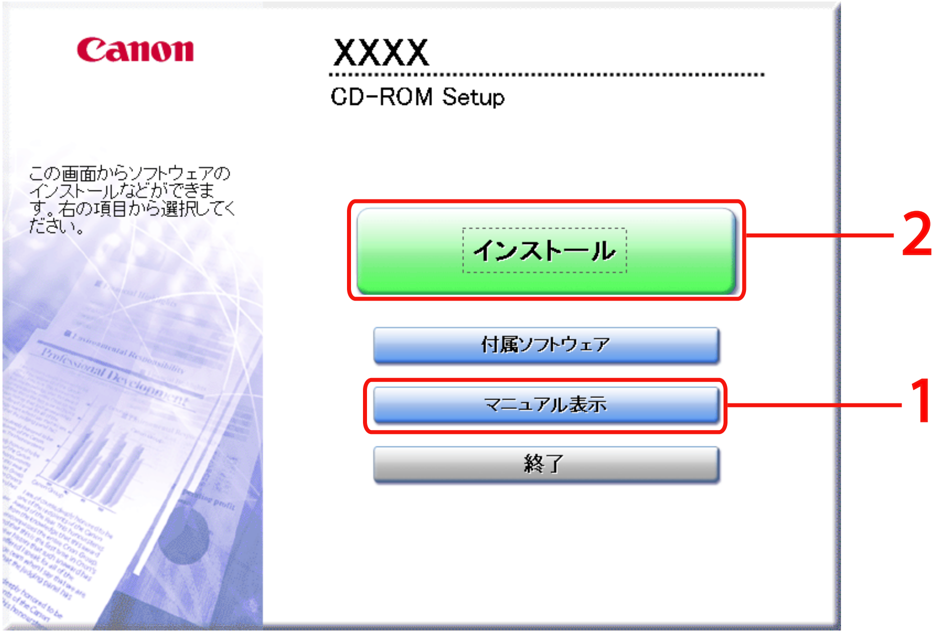
メモ

- 日本語以外の OS には対応していません。
- お使いのファクスドライバーのバージョンによって、サポートする OS が異なる場合があります。
- お使いの機種によっては、ポート選択後、各ポートで次のキューを指定する必要があります。
  - LPR の場合
    Windows TCP/IP の場合は、［キュー名］欄に Print、Hold、Direct のキュー名を入力してください。
  - RAW の場合
    ポート番号は 9100、9101、9102、9103 の 4 つに対応しています。
    9100: Print、Hold、Direct のいずれか
    9101: Direct キューが指定されます
    9102: Print キューが指定されます
    9103: Hold キューが指定されます
  - NetWare の場合
    お使いの機種によっては、バナーの設定は OFF にしてください。

インストールする

User Software CD-ROM のメニュー画面から、ファクスドライバーのインストール、および「ファクスドライバーインストールガイド」の表示ができます。

CD-ROM メニュー画面



1	［マニュアル表示］	「ファクスドライバーインストールガイド」を参照するとき、最初にクリックします。インストール開始後は、インストールガイドを表示できません。
2	［インストール］	ファクスドライバーをインストールするときにクリックします。

ファクスのオプション設定をする

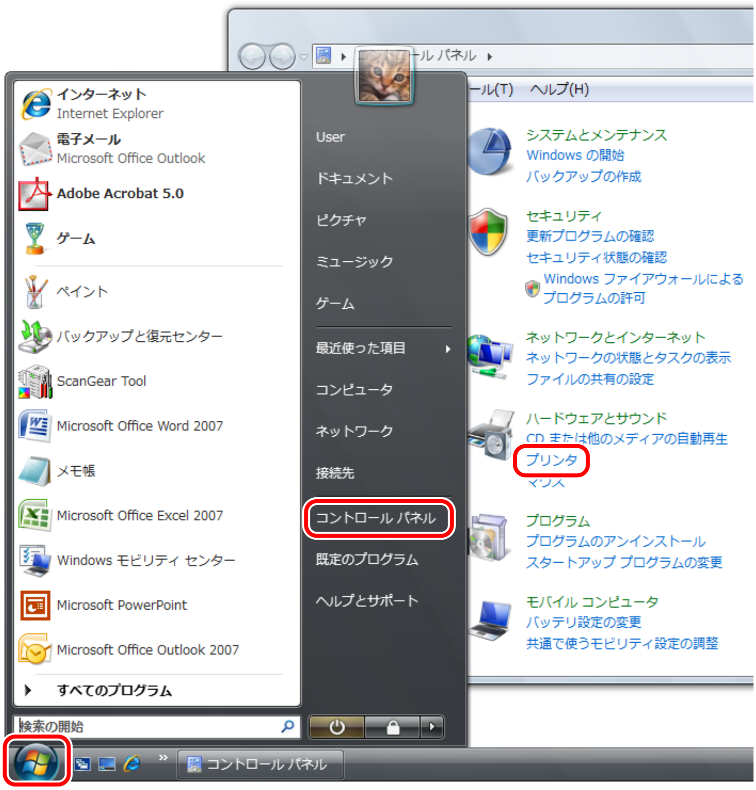
本体に装着されているオプション（ファクスボードなど）を使用するには、あらかじめファクスドライバーでオプション設定をしておく必要があります。

通常、オプション設定は、ドライバーのインストール時に自動的に行われます。インストール時に設定が行われなかった場合、またはオプションを使用してファクス送信できない場合は、次の操作を行って設定してください。

重要
コンピューターに Administrators または Power Users のメンバーとしてログオンしてください。

1.

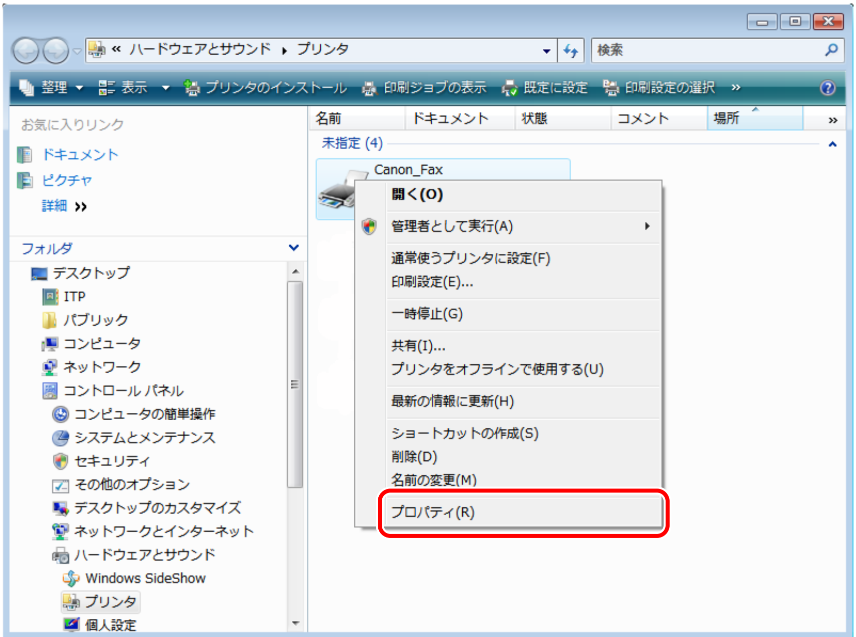
［ ］（スタート）→［コントロールパネル］→［プリンタ］をクリックします。



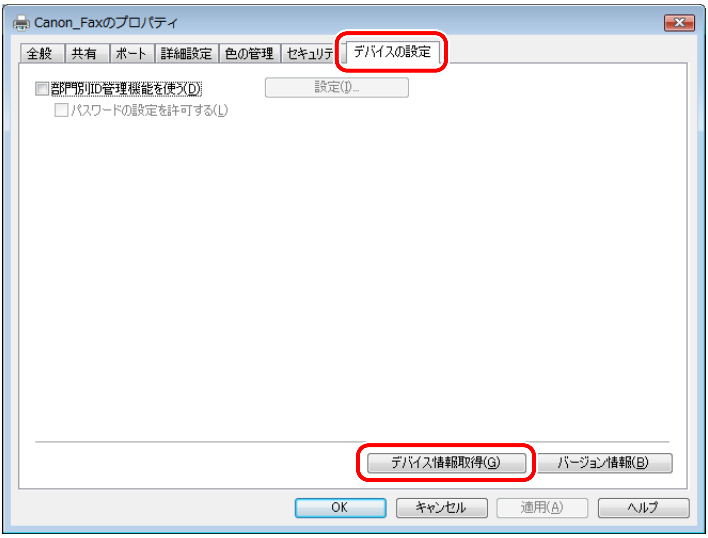
メモ
• Windows 7 の場合は、［ ］（スタート）→［デバイスとプリンター］をクリックします。 • Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］→［プリンタと FAX］（または［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］）をクリックします。 • Windows 2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。

2.

設定を行うファクスのアイコンを右クリックしたあと、［プロパティ］をクリックします。



3. ［デバイスの設定］→［デバイス情報取得］をクリックします。



本体から取得したオプション情報が設定されます。

4. 本体に装着されているオプションが設定されていることを確認したあと、［OK］をクリックします。

メモ
• ファクスを共有してお使いの場合は、プリントサーバーに「Canon Driver Information Assist Service」をインストールすると、［デバイス情報取得］の機能をお使いになれます。「Canon Driver Information Assist Service」のインストール方法については、「ファクスドライバー インストールガイド」を参照してください。 • お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

基本的なファクス送信方法

6
CHAPTER

ファクス送信の基本操作を説明します。

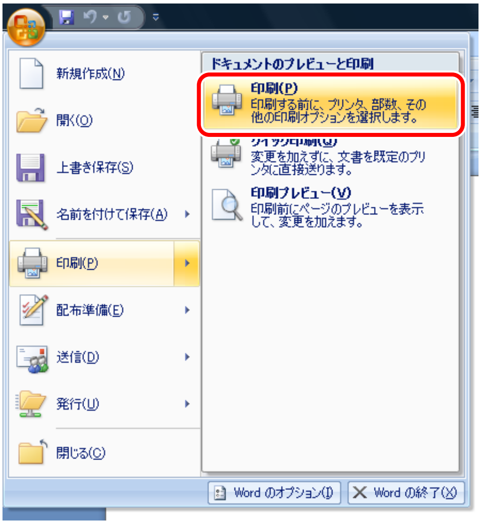
ファクス送信する

ファクスドライバーを使用してファクス送信する、基本的な操作の流れを説明します。

メモ
ファクス送信の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

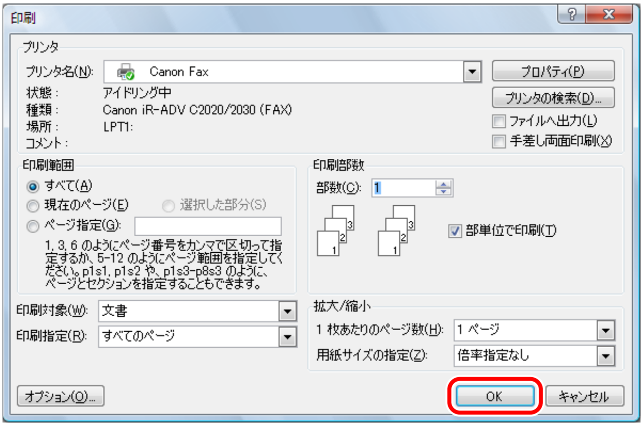
1.

アプリケーションソフトウェアのメニューから［印刷］を選択します。



2.

お使いのファクスを選択したあと、［印刷］（または［OK］）をクリックします。



3.

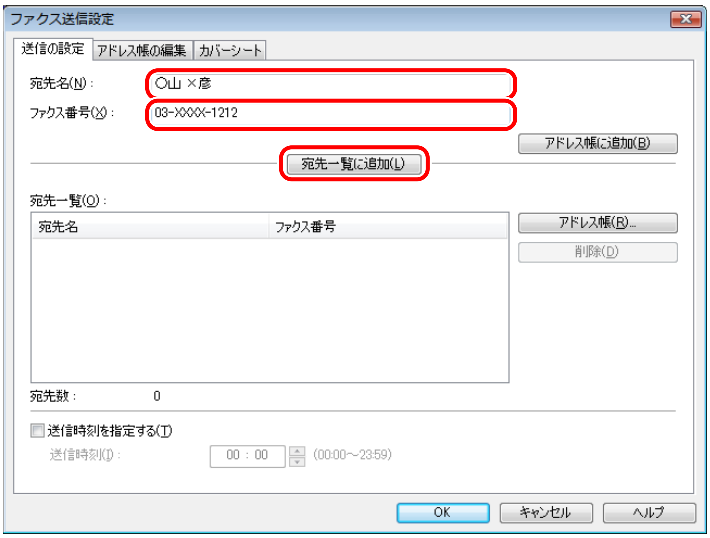
［ファクス送信設定］ダイアログボックスで、宛先を指定します。

» 「新規に宛先を入力して指定する」（→ P. 6-3）

» 「アドレス帳に登録された宛先を指定する」（→ P. 6-4）

新規に宛先を入力して指定する

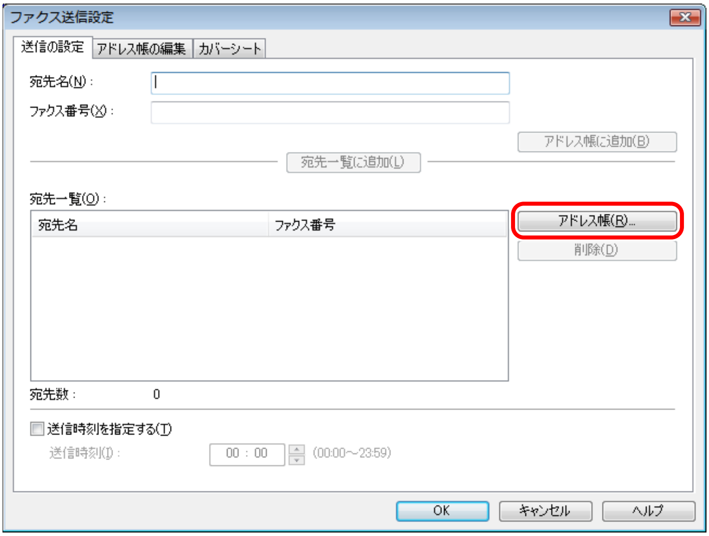
☐ ［送信の設定］ページで、宛先名とファクス番号を入力したあと、［宛先一覧に追加］をクリックします。



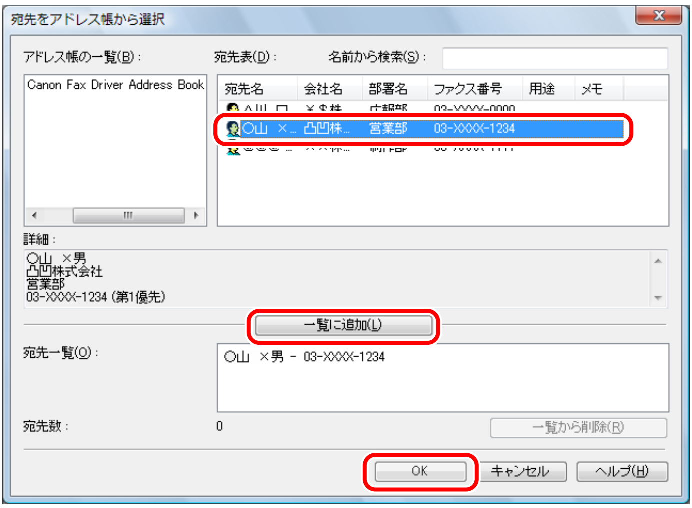
メモ
［特別］ページの［セキュリティ設定］を設定している場合、［宛先一覧に追加］をクリックすると宛先確認のダイアログボックスが表示されます。詳しくはヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」）

アドレス帳に登録された宛先を指定する

□ ［送信の設定］ページで、［アドレス帳］をクリックします。



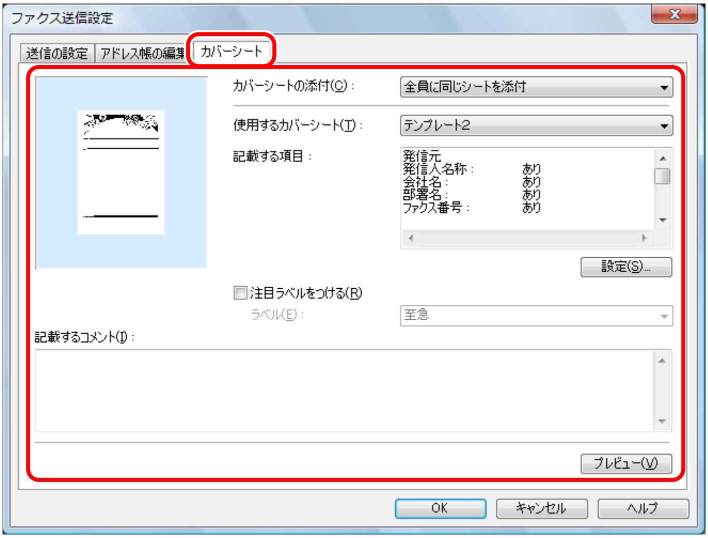
□ 宛先名を選択→［一覧に追加］→［OK］をクリックします。



メモ
アドレスの登録など、アドレス帳の使い方については「アドレス帳の使い方（→ P. 8-1）」を参照してください。

4.

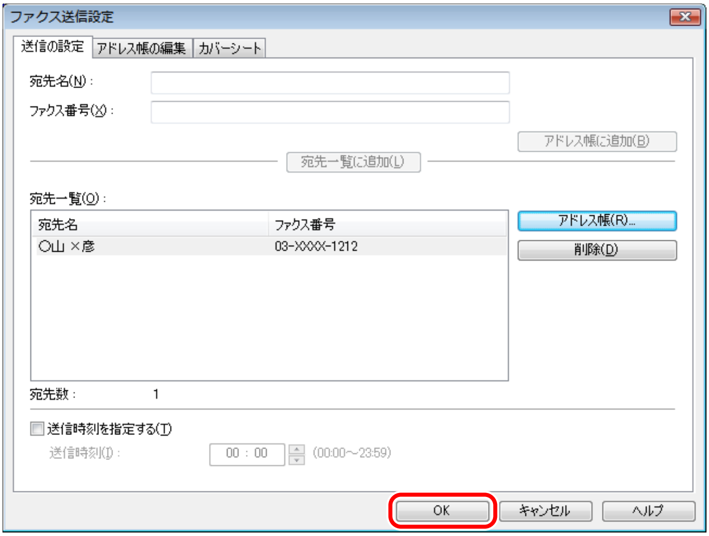
カバーシートを添付する場合は、［カバーシート］をクリックしたあと、必要に応じた項目を設定します。



メモ
カバーシートの添付については、「カバーシートを添付する（→ P. 7-5）」を参照してください。

5.

［OK］をクリックします。



ファクス送信が始まります。

メモ

- お使いの機種によっては、本体のシステム状況／中止画面からファクス送信を中止することもできます。（→「送信／ファクスガイド」）
- 画面の右下にあるタスクトレイにプリンターアイコンが表示されている場合、コンピューターからファクス送信を中止できます。中止するには、プリンターアイコンをダブルクリックしたあと、中止したいファイル名→［ドキュメント］→［キャンセル］をクリックします。
- ファクス送信時に本体でエラーが発生した場合は、本体パネルの［エラー文書のクリア］のオン、オフにかかわらず送信されないことがありますので、再度ファクスドライバーから送信してください。
- アドレス帳の保存先フォルダーにアクセス権限（デフォルトは、Power User 権限以上）がない場合には、アドレス帳の参照、編集を行えません。その場合は、アクセス権限のあるユーザーでログオンするか、［アドレス帳の編集］ページで［フォルダー指定］をクリックして、アドレス帳の保存先を、書き込み権限のある［マイドキュメント］フォルダーなどに変更してください。アドレス帳の保存先の変更方法については、「アドレス帳の保存先を変更する（→ P. 8-12）」を参照してください。
- デバイス側のファクス送信ジョブの宛先保持件数には制限があります。ファクス送信ジョブ投入後、宛先数が制限を越えた場合、最後に投入されたジョブは削除されます。グループで制限以上の宛先を登録している場合や、連続して複数のグループ宛先にファクス送信する場合はご注意ください。
- 一度に送信可能な相手先件数は、カバーシートの添付条件により異なります。詳しくはヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」）
- お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

あらかじめファクス送信の設定をする

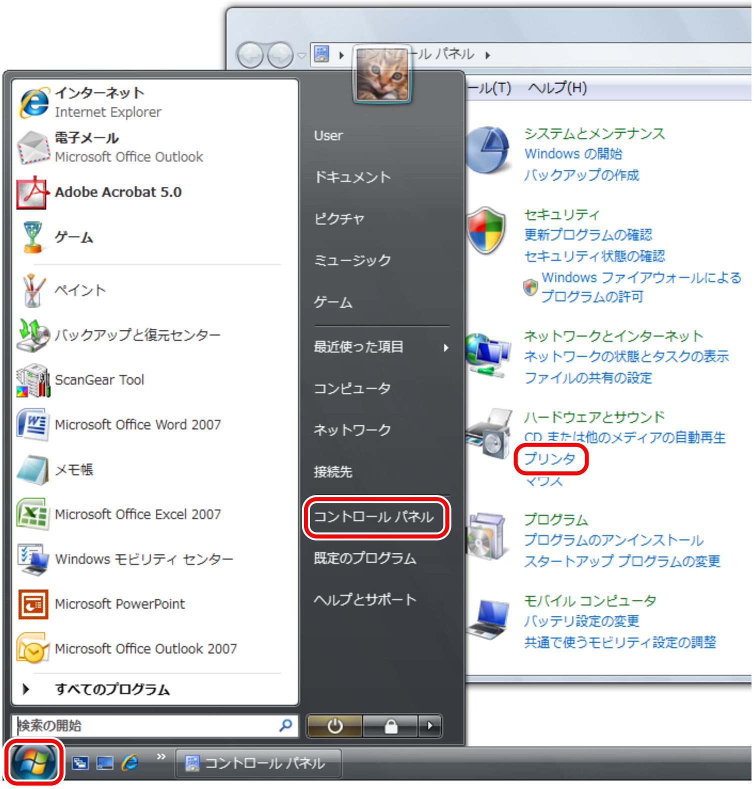
［コントロールパネル］からファクスドライバーの画面を表示して、あらかじめ設定をしておく手順を説明します。

アドレス帳の編集、カバーシートのテンプレート登録、ページフォーマットの設定などができます。

重要
コンピューターに Administrators または Power Users のメンバーとしてログオンしてください。

1.

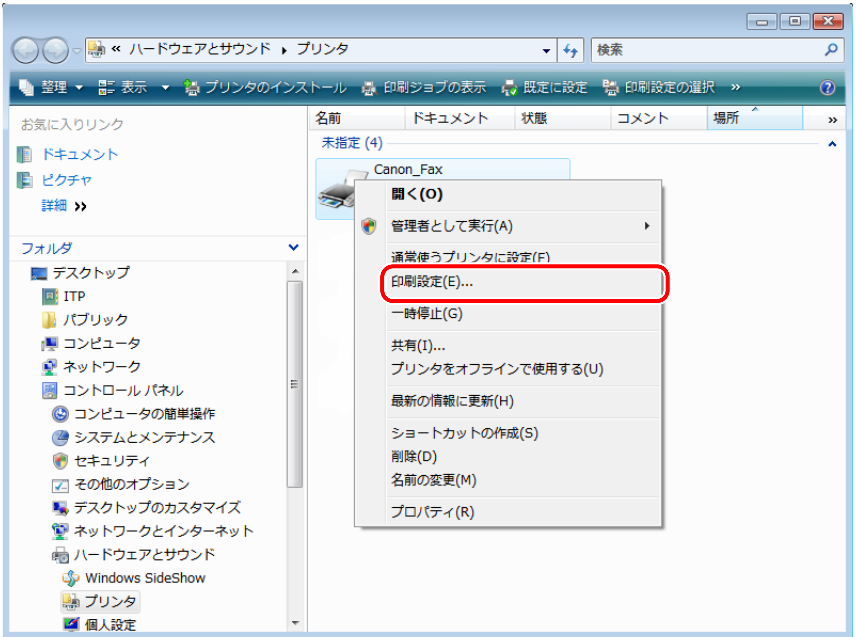
［ ］（スタート）→［コントロールパネル］→［プリンタ］をクリックします。



メモ

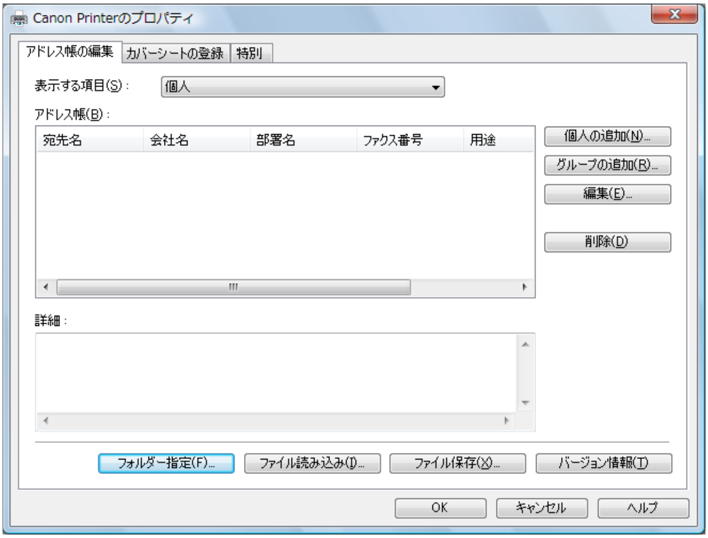
- Windows 7 の場合は、［ ］（スタート）→［デバイスとプリンター］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］→［プリンタと FAX］（または［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］）をクリックします。
- Windows 2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。

2.
設定を行うプリンターのアイコンを右クリックしたあと、［印刷設定］をクリックします。



ここで表示されるファクスドライバーの画面は、次のページで構成されています。

- ［アドレス帳の編集］ページ
- ［カバーシートの登録］ページ
- ［特別］ページ



3. ファクスドライバー画面で、必要に応じた機能を設定したあと、［OK］をクリックします。

設定できる機能については、ヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」）

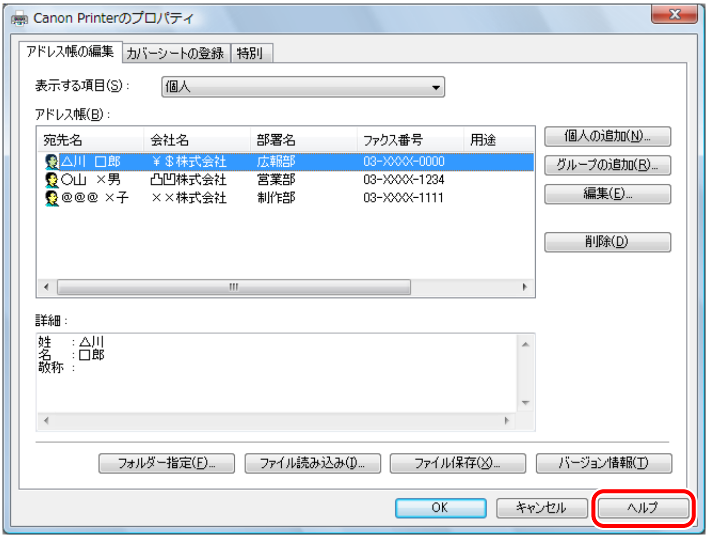
メモ
• ファクス送信するときに、あらかじめ行った設定を変更することもできます。変更するには、アプリケーションソフトウェアからファクスドライバー画面を表示して設定します。 • お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

ヘルプを表示する

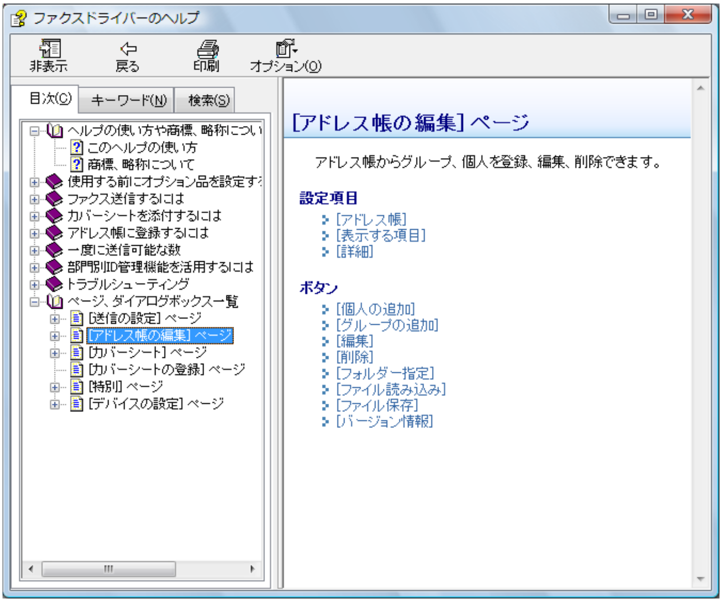
ファクスドライバー画面の［ヘルプ］をクリックすると、ヘルプが表示されます。
ヘルプには、すべてのファクス機能について説明があります。本マニュアルに記載されていない機能の説明や設定方法を調べたいときは、ヘルプをご利用ください。

1.

［ヘルプ］をクリックします。



ヘルプが表示されます。



トピックペイン （右側のウィンドウ）	：説明が表示されます。
ナビゲーションペイン （左側のウィンドウ）	：調べたい内容を検索するとき、[検索］／［キーワード］／［目次］をクリックします。

便利なファクス機能の使い方

7
CHAPTER

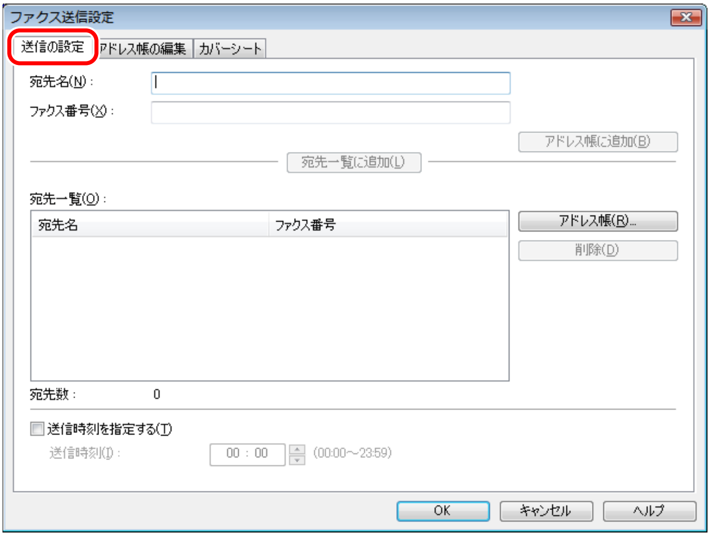
送信時刻の指定や、カバーシートの添付など、ファクス送信に便利な機能について説明しています。

送信時刻を設定する

データをファクス本体に一時的に保存して、指定した時刻に送信できます。

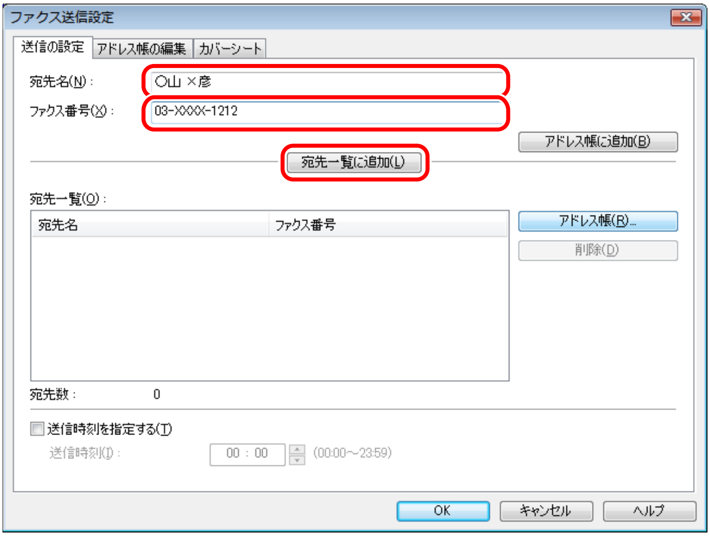
1.

［送信の設定］をクリックします。



ファクスドライバーの画面の表示方法については、「ファクス送信する（→ P. 6-2）」を参照してください。

2. 宛先名とファクス番号を入力したあと、［宛先一覧に追加］をクリックします。

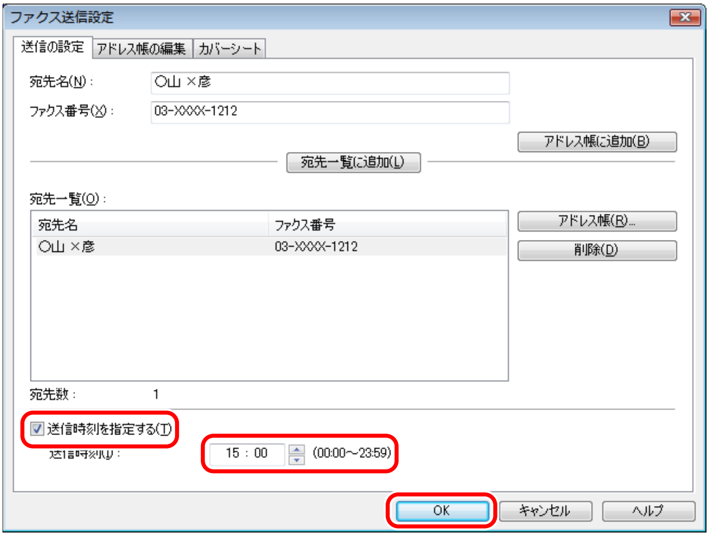


［アドレス帳］をクリックして、アドレス帳に登録されている宛先を指定することもできます。詳細は、「ファクス送信する（→ P. 6-2）」を参照してください。

メモ
［特別］ページの［セキュリティ設定］を設定している場合、［宛先一覧に追加］をクリックすると宛先確認のダイアログボックスが表示されます。詳しくはヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」）

3.

[送信時刻を指定する] にチェックマークを付けて、送信時刻を指定したあと、[OK] をクリックします。



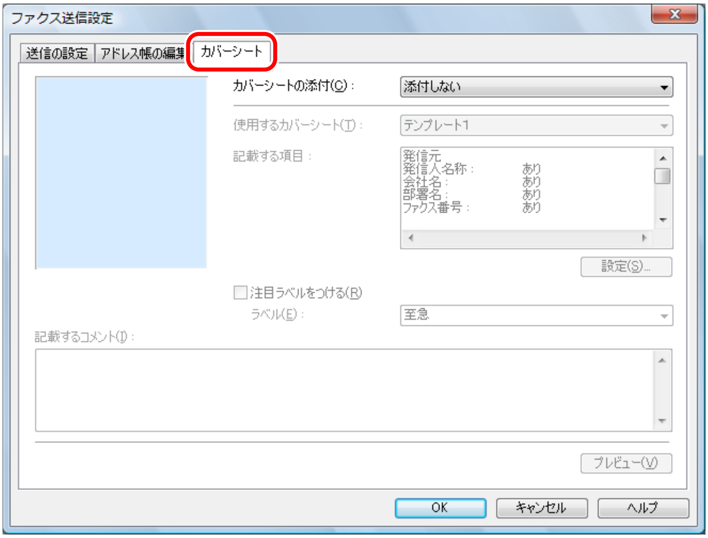
データは本体に一時的に保存され、指定した時刻にファクス送信されます。

メモ
お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

カバーシートを添付する

送信するファクス文書にカバーシートを添付する手順は、次のとおりです。

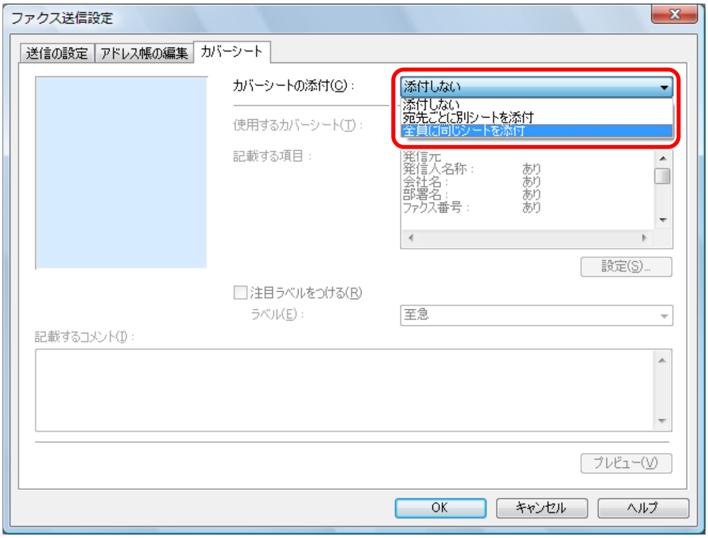
1.
［カバーシート］をクリックします。



ファクスドライバーの画面の表示方法については、「ファクス送信する（→ P. 6-2）」を参照してください。

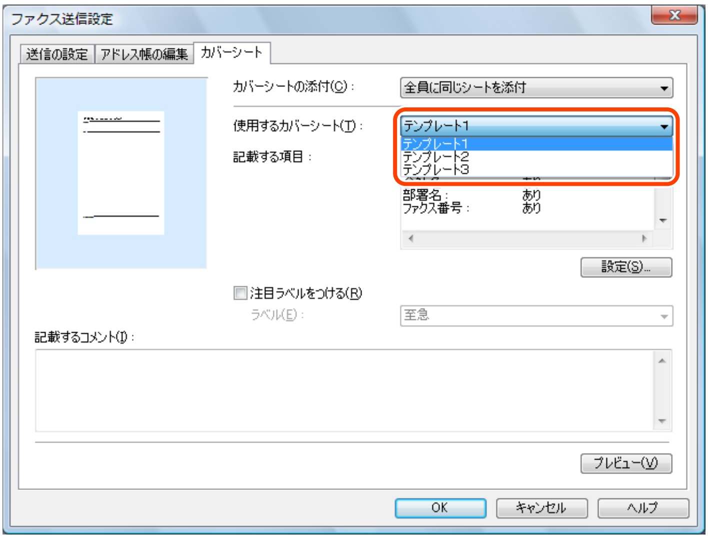
2.

［カバーシートの添付］から添付方法を選択します。



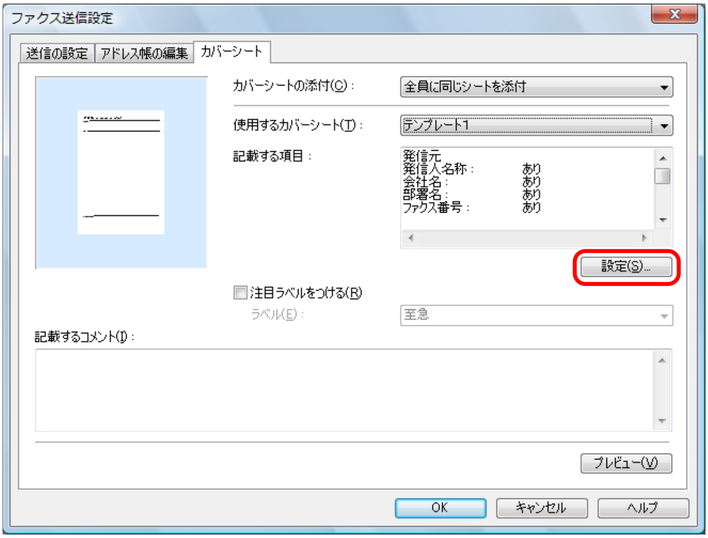
3.

［使用するカバーシート］からテンプレートを選択します。



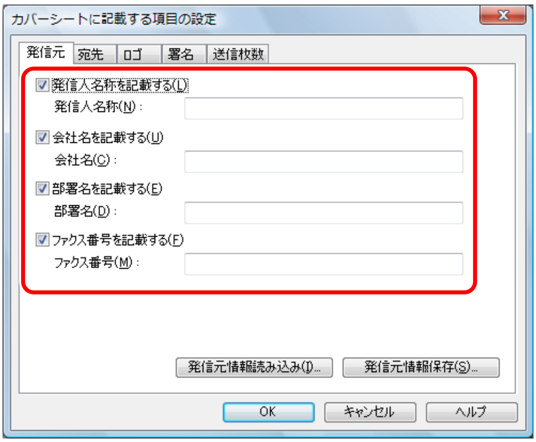
お好みのカバーシートをあらかじめ登録しておくことができます。詳しくはヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」）

4. カバーシートに記載する項目を設定する場合は、［設定］をクリックします。



カバーシートに記載する項目を設定しない場合は、手順 11 に進みます。

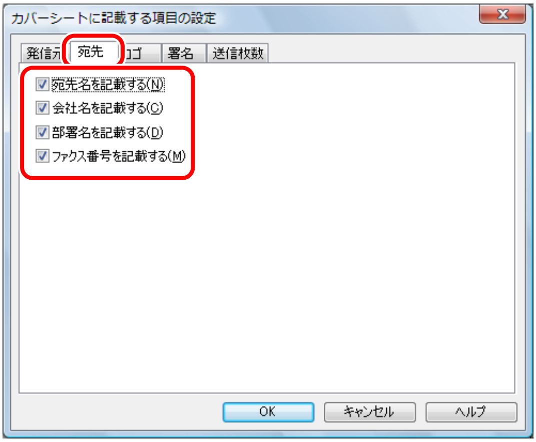
5. 発信元について記載する項目にチェックマークを付けたあと、記載内容を入力します。



メモ
［発信元］ページで入力した情報をファイルに保存するには、［発信元情報保存］をクリックします。また、［発信元情報読み込み］をクリックすると、保存されている発信元情報を読み込むことができるため、ファクス送信するたびに発信元情報を入力する必要がなくなります。

6.

［宛先］をクリックしたあと、宛先について記載する項目にチェックマークを付けます。



メモ
カバーシートには、［送信の設定］ページで指定された宛先ごとの情報が自動的に記載されます。

7.

必要に応じて、ロゴと署名を設定します。

□ ［ロゴ］または［署名］をクリックします。

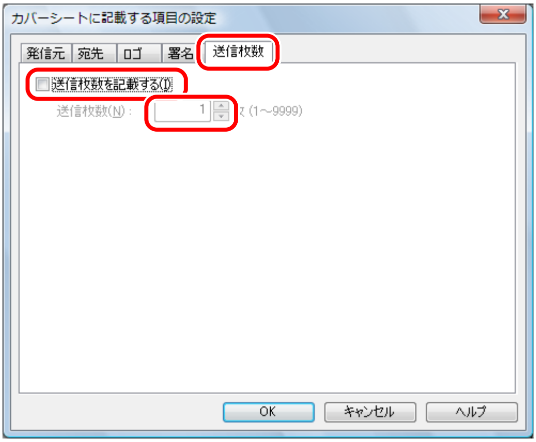
□ ロゴを印刷する場合には［ロゴ］ページの［ロゴをつける］、署名を印刷する場合には［署名］ページの［署名をつける］にチェックマークを付けます。



□ ［参照］をクリックして、ロゴまたは署名のデータ保存先を指定したあと、倍率と座標を指定します。

8.

送信枚数を記載する場合は、［送信枚数］をクリックし、［送信枚数を記載する］にチェックマークを付けたあと、［送信枚数］を設定します。

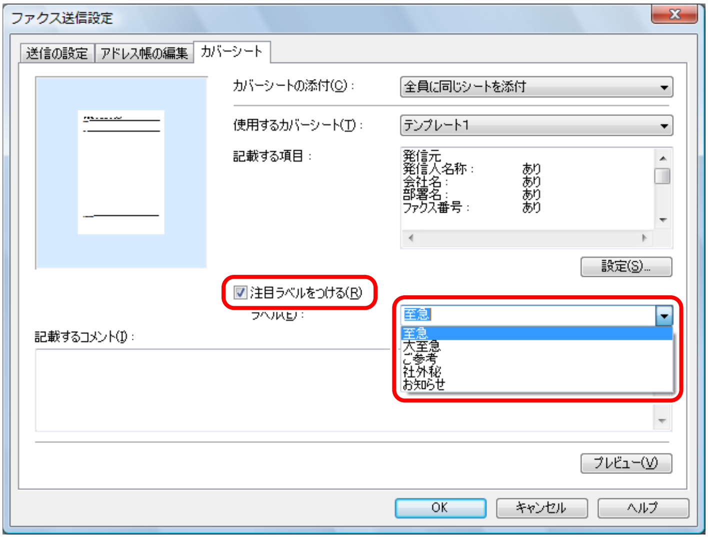


メモ
送信枚数は、自動ではカウントされません。手動で入力した値が、カバーシートに記載されます。

9.

［OK］をクリックします。

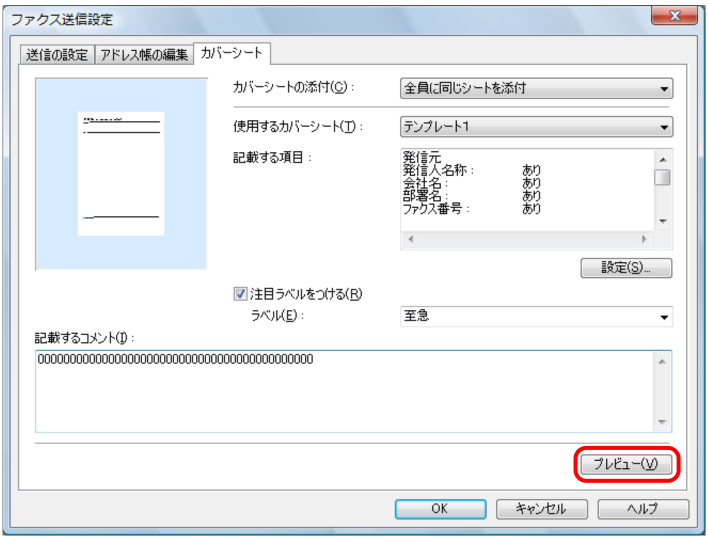
10. 注目ラベルを記載する場合は、［注目ラベルをつける］にチェックマークを付けたあと、ラベルを選択します。



［ラベル］は記載したい文字を入力することもできます。その場合は、全角 15 文字（半角 30 文字）以内で入力します。

［記載するコメント］は必要に応じて入力してください。

11. 作成したカバーシートのプレビューを見る場合は、［プレビュー］をクリックします。



12.

［OK］をクリックします。

ファクス送信時に、指定したカバーシートがファクス文書に添付されます。

メモ
• 一度に送信可能な宛先件数は、カバーシートの添付条件により異なります。詳しくは、ヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」） • お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

アドレス帳の使い方

8
CHAPTER

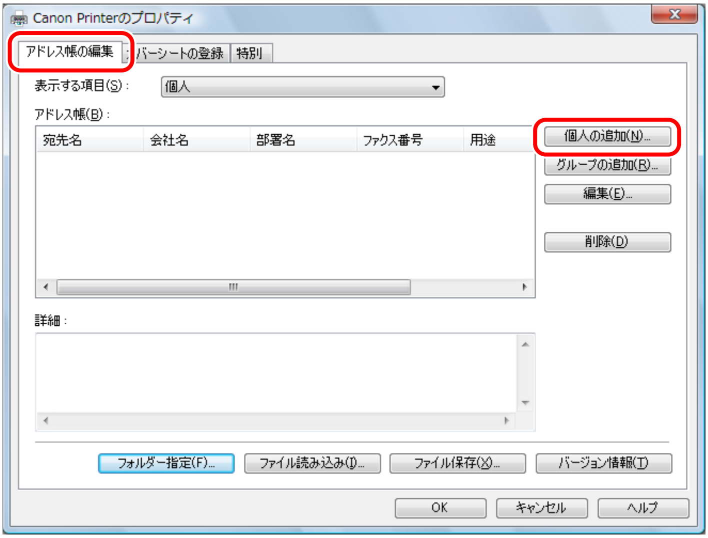
個人とグループのアドレスをアドレス帳に登録する手順、アドレス帳を編集する手順など、アドレス帳の使い方について説明します。本ファクスドライバー以外のアプリケーションで作成されたアドレス帳からも、送信する宛先を指定できます。アドレス帳の保存先フォルダーにアクセス権限（デフォルトは、Power User 権限以上）がない場合には、アドレス帳の参照、編集を行えません。その場合は､アクセス権限のあるユーザーでログオンするか､［アドレス帳の編集］ページで［フォルダー指定］をクリックして、アドレス帳の保存先を、書き込み権限のある［マイドキュメント］フォルダーなどに変更してください。アドレス帳の保存先の変更方法については、「アドレス帳の保存先を変更する」（→ P. 8-12）アドレス帳の保存先を変更する」を参照してください。

個人のアドレスを登録する

個人のアドレス情報をアドレス帳に登録できます。

1.

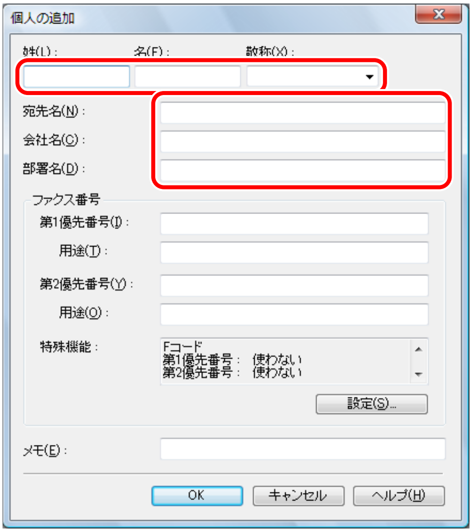
［アドレス帳の編集］をクリックしたあと、［個人の追加］をクリックします。



［アドレス帳の編集］ページの表示方法については、「あらかじめファクス送信の設定をする（→ P. 6-7）」を参照してください。

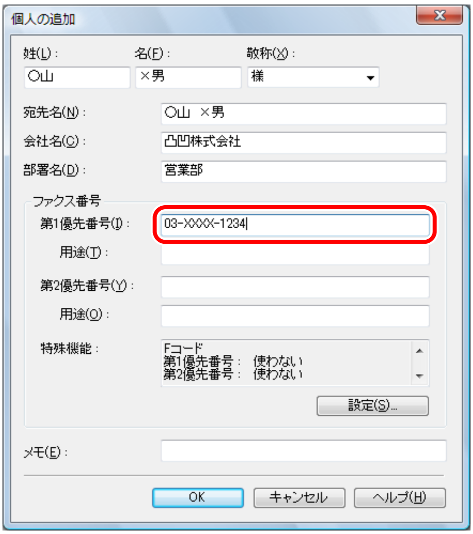
2.

登録する個人の情報を入力します。



3.

ファクス番号を入力します。

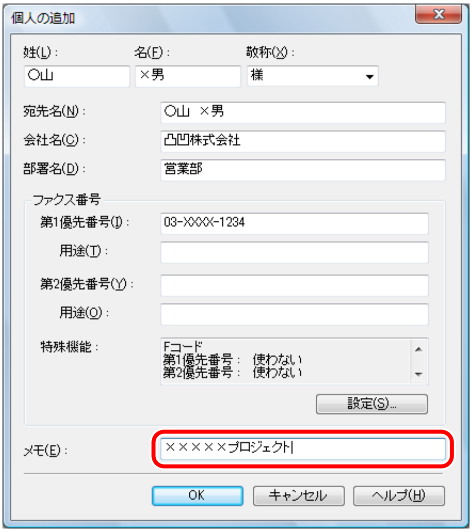


［用途］は必要に応じて、ファクス番号の補足情報を入力してください。

メモ
• 第 1 優先番号と第 2 優先番号の 2 種類のファクス番号を登録できます。

4.

必要に応じて、キーワードとなる追加情報を［メモ］に入力します。



5.

［OK］をクリックします。

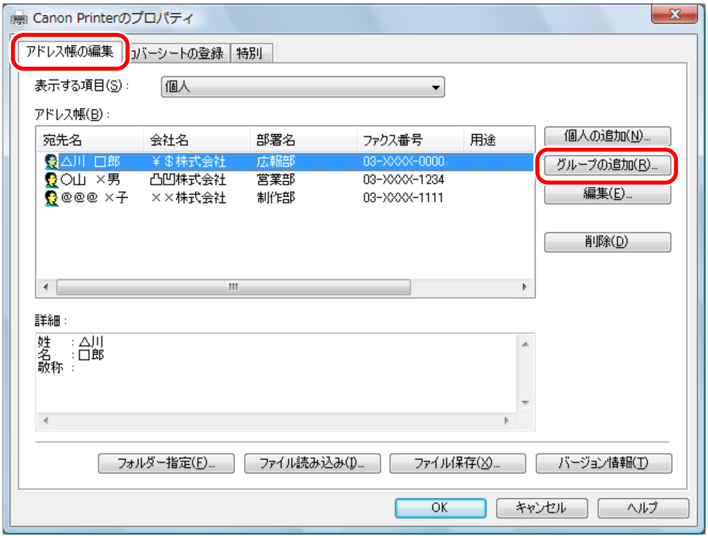
メモ
• 個人のアドレスは 3000 件まで登録できます。 • 登録した項目を［アドレス帳］から削除するには、アドレス帳リストでその項目を選択したあと、［削除］をクリックします。 • 相手先の個人 1 人に対して 2 つのファクス番号を指定した場合、［アドレス帳］には同一個人名で 2 つのファクス番号が表示されます。 • アドレス帳の保存先フォルダーに対するアクセス権限（デフォルトは Power User 権限以上）がない場合、アドレス帳の参照、編集を行えません。その場合は、アクセス権限のあるユーザーでログオンするか、［アドレス帳の編集］ページで［フォルダー指定］をクリックして、アドレス帳の保存先を書き込み権限のある［マイドキュメント］フォルダーなどに移動してください。 • すでに登録された個人のアドレスも編集できます。詳しくは、ファクスドライバー画面の右下の［ヘルプ］をクリックして、ヘルプを参照してください。 • お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

グループを登録する

アドレス帳でグループを作成すると、グループに登録した相手先へ一括でファクス送信できます。
グループには、個人のアドレスの他に、登録済みのグループを子グループとして登録することもできます。

1.

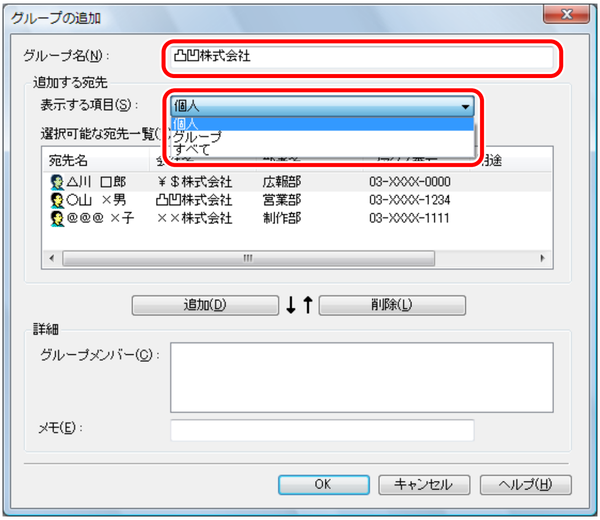
［アドレス帳の編集］をクリックしたあと、［グループの追加］をクリックします。



［アドレス帳の編集］ページの表示方法については、「あらかじめファクス送信の設定をする（→ P. 6-7）」を参照してください。

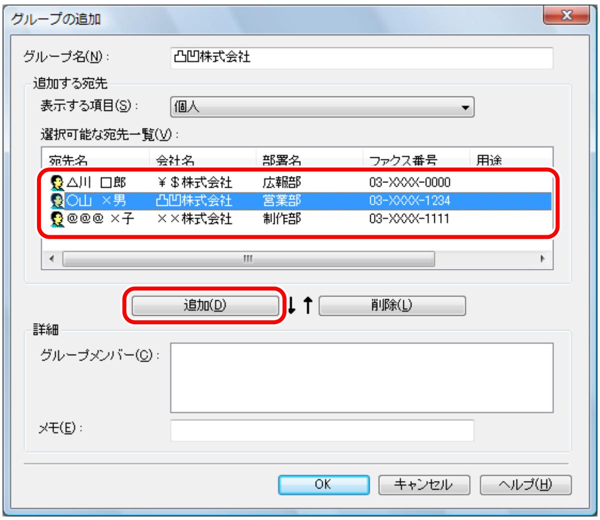
2.

グループ名を入力したあと、［表示する項目］から登録する対象を選択します。



3.

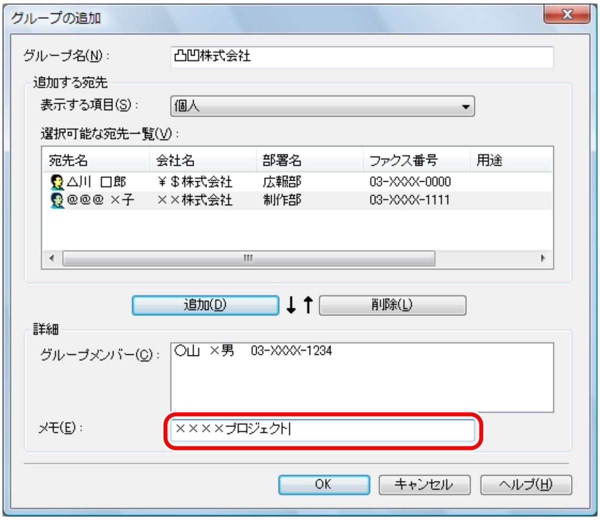
［選択可能な宛先一覧］からグループに登録する個人やグループを選択したあと、［追加］をクリックします。



追加した宛先を［グループメンバー］から削除するには、その宛先を選択したあと、［削除］をクリックします。

メモ
キーボードの［SHIFT］キーまたは［CTRL］キーを押しながら宛先をクリックすると、複数の宛先を選択できます。

4.
必要に応じて、キーワードとなる追加情報を［メモ］に入力します。



5.
［OK］をクリックします。

メモ
• グループのアドレスは、3000 件まで登録できます。 • 登録した項目を［アドレス帳］から削除するには、アドレス帳リストでその項目を選択したあと、［削除］をクリックします。 • アドレス帳の保存先フォルダーに対するアクセス権限（デフォルトは Power User 権限以上）がない場合、アドレス帳の参照、編集を行えません。その場合は、アクセス権限のあるユーザーでログオンするか、［アドレス帳の編集］ページで［フォルダー指定］をクリックして、アドレス帳の保存先を書き込み権限のある［マイドキュメント］フォルダーなどに移動してください。 • すでに登録されたグループの宛先の情報を編集することもできます。詳しくは、ファクスドライバー画面の右下の［ヘルプ］をクリックして、ヘルプを参照してください。 • お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

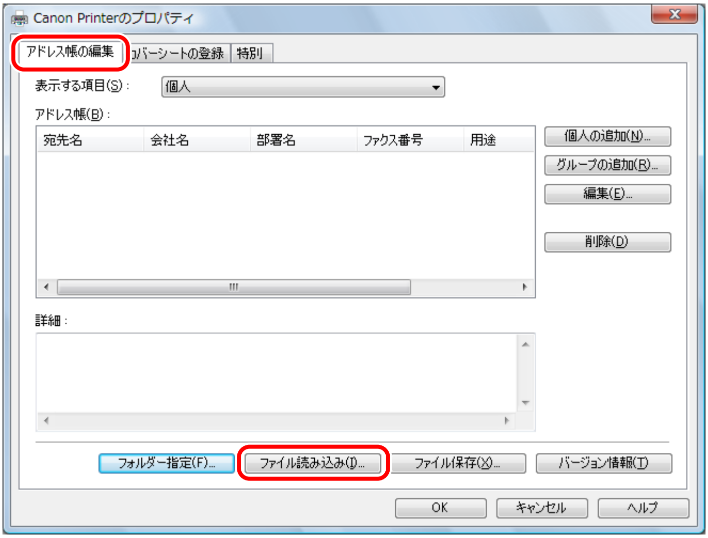
アドレス帳をインポートする

アプリケーションソフトウェアで使用しているアドレス帳の情報を読み込み、ファクスドライバーのアドレス帳に登録ができます。

メモ
読み込み可能なファイルは、CSV 形式のファイル、あるいは Canon Address Book ファイル（*.abk）です。

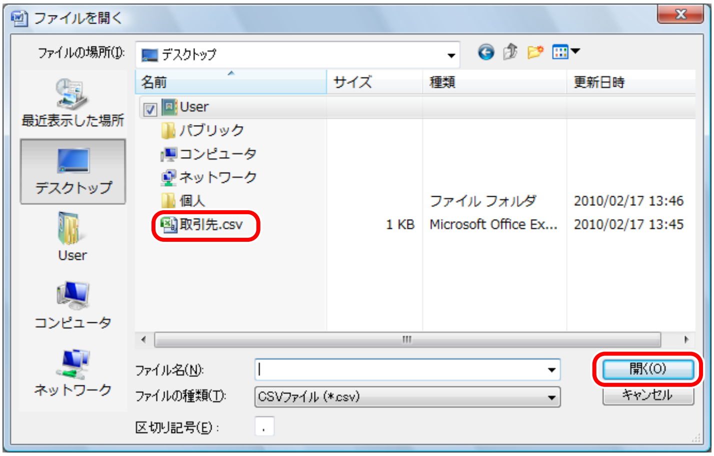
1.

［アドレス帳の編集］をクリックしたあと、［ファイル読み込み］をクリックします。



［アドレス帳の編集］ページの表示方法については、「あらかじめファクス送信の設定をする（→ P. 6-7）」を参照してください。

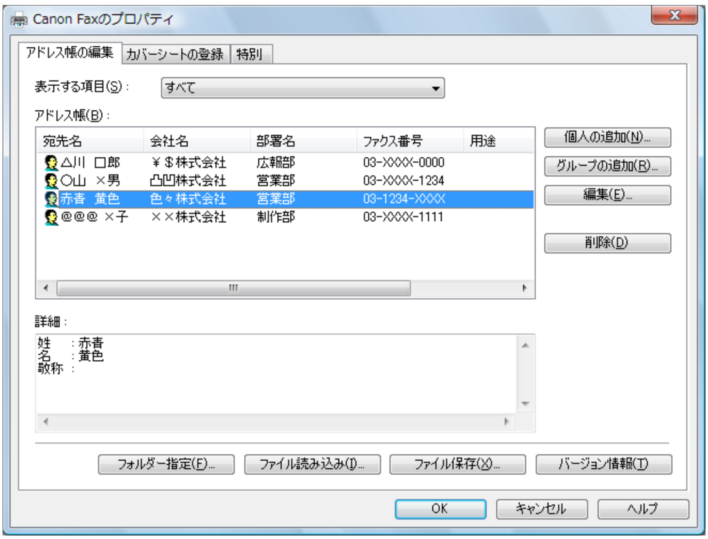
2.
アドレス帳に読み込むファイルを選択したあと、［開く］をクリックします。



［ファイルの種類］で、読み込むファイルの形式を CSV ファイル（*.csv）、Canon Address Book（*.abk）、すべてのファイル（*.*）のいずれかから選択します。

CSV 形式のファイルを選択する場合には、使用されている区切り記号も指定します。

アドレス帳が読み込まれ、アドレスが一覧に追加されます。



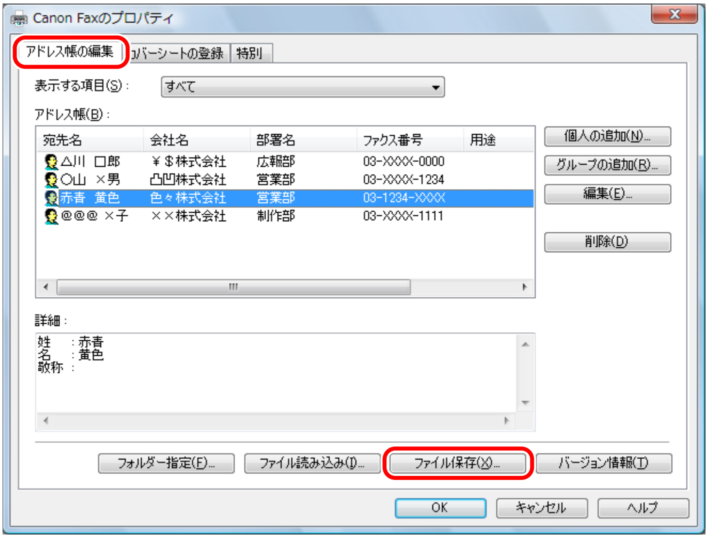
メモ
お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳に登録したデータを、CSV 形式のファイル（*.csv）、あるいは Canon Address Book ファイル（*.abk）に保存できます。保存したファイルは、他のアプリケーションソフトウェアで使用することもできます。

1.

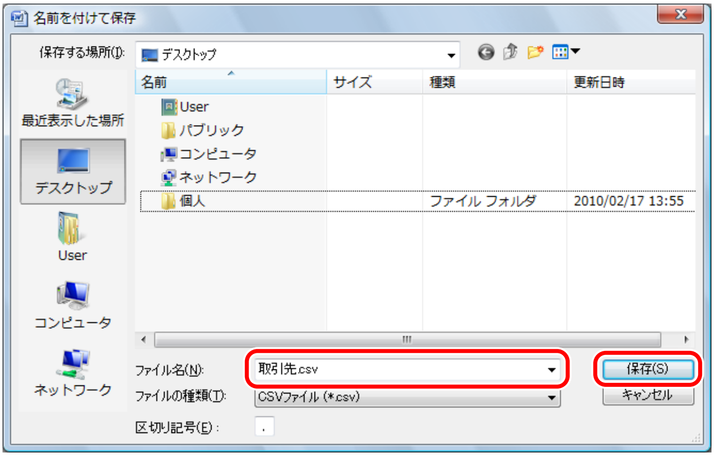
［アドレス帳の編集］をクリックしたあと、［ファイル保存］をクリックします。



［アドレス帳の編集］ページの表示方法については、「あらかじめファクス送信の設定をする（→ P. 6-7）」を参照してください。

メモ
［特別］ページの［セキュリティ設定］を設定している場合、［ファイル保存］をクリックするとパスワード入力のダイアログボックスが表示されます。詳しくはヘルプを参照してください。（→「ヘルプを表示する（→ P. 6-10）」）

2.
保存するファイル名を指定したあと、［保存］をクリックします。



［ファイルの種類］で、保存するファイルの形式を CSV ファイル（*.csv）、Canon Address Book（*.abk）のいずれかから選択します。

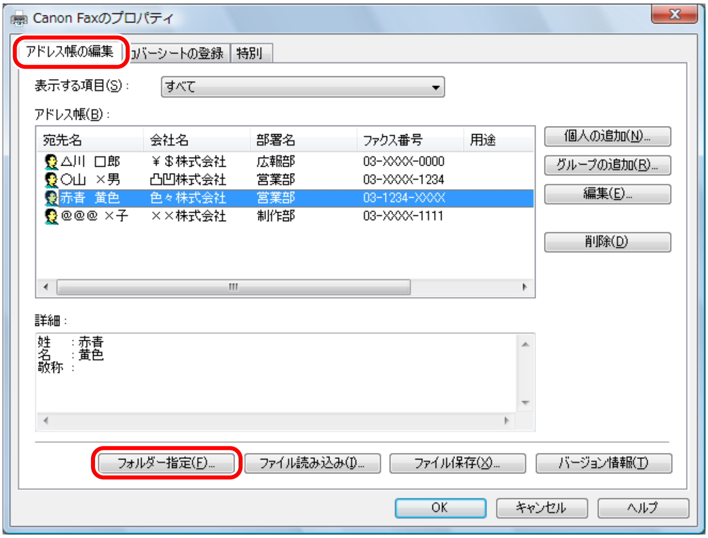
CSV 形式のファイルを選択する場合には、使用されている区切り記号も指定します。

メモ
お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

アドレス帳の保存先を変更する

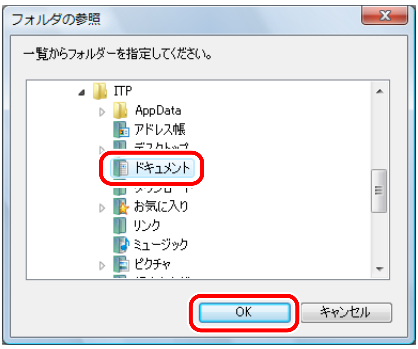
本ファクスドライバーのアドレス帳（Canon Fax Driver Address Book）の保存先の変更や、新規作成を行うことができます。

1.
［アドレス帳の編集］をクリックしたあと、［フォルダー指定］をクリックします。



［アドレス帳の編集］ページの表示方法については、「あらかじめファクス送信の設定をする（→ P. 6-7）」を参照してください。

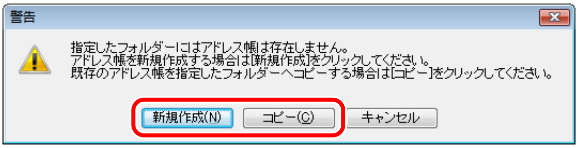
2.
アドレス帳の保存先フォルダーを指定したあと、［OK］をクリックします。



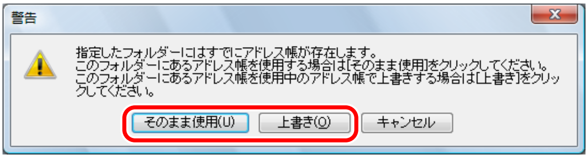
メモ
アドレス帳の保存先には、書き込み権限のあるフォルダー（[マイドキュメント]など）を指定します。

3.

新規にアドレス帳を作成する場合は［新規作成］を、本ファクスドライバーで使用しているアドレス帳をコピーする場合は［コピー］をクリックします。



手順 2 で指定したフォルダーにアドレス帳がすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。既存のアドレス帳を使用する場合は［そのまま使用］を、本ファクスドライバーで使用しているアドレス帳を使用する場合は［上書き］をクリックします。



アドレス帳が新規作成またはコピーされます。

メモ
• アドレス帳の保存先フォルダーにアクセス権限（デフォルトは、Power User 権限以上）がない場合には、アドレス帳の参照、編集を行えません。本手順で、アドレス帳の保存先を、書き込み権限のある［マイドキュメント］フォルダーなどに変更してください。 • お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによって画面が異なることがあります。

ご使用の前に

9
CHAPTER

このセクションでは、ネットワークスキャナーを使用する前に知っておくべきことについて説明します。

必要なシステム環境

スキャナードライバーをお使いになるには、以下のシステム環境が必要です。

ソフトウェア

- OS
  - Windows XP
  - Windows Server 2003
  - Windows Vista
  - Windows Server 2008
  - Windows 7
- アプリケーションソフトウェア
  TWAIN 対応アプリケーションソフトウェア（AdobePhotoshop、AdobeAcrobat、Office2000 以降の Microsoft Word/Excel/PowerPoint など）

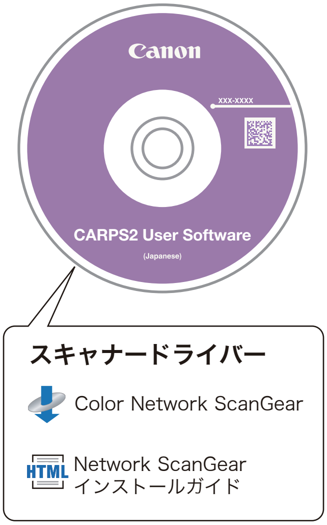
ハードウェア

- コンピューター
  対応 OS が動作するコンピューター
- ハードディスク
  対応 OS の動作に必要な容量のハードディスク
- メインメモリー
  対応 OS の動作に必要な容量のメモリー
- 640 × 480 ドット以上の表示解像度（800 × 600 ドット以上推奨）、256 色以上の表示色数を持つディスプレイ
- Ethernet 上で TCP/IP および UDP/IP による通信が可能なネットワークホストアダプター

メモ
大量の画像やデータサイズの大きい画像をスキャンすると、メモリー不足などのエラーが発生したり、スキャン速度が著しく低下したりすることがあります。この場合、以下のような処理を行ってください。 • ハードディスク内の不要なファイルを整理するなどして十分な空き容量を確保するか、ハードディスクを増設する • 解像度の設定を下げてスキャンしなおす • RAM を増設する • 仮想メモリーサイズをなるべく大きめに設定する • 一度にスキャンする原稿の枚数を減らす

ご利用前に必要なこと

本体でスキャンした画像をコンピューターに取り込むには、コンピューターにスキャナードライバーをインストールする必要があります。
スキャナードライバーは、プリンタードライバーと同様に User Software CD-ROM に収録されています。

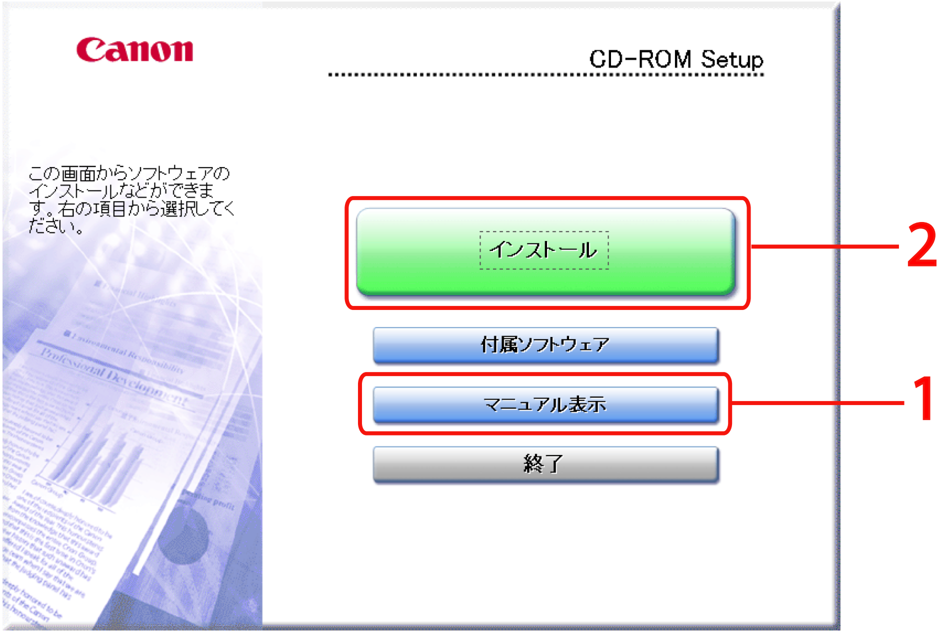


» インストールする（→ P. 9-4）
» スキャナーを選択する（→ P. 9-5）

インストールする

User Software CD-ROM のメニュー画面から、スキャナードライバー（Color Network ScanGear）のインストール、および「Network ScanGear インストールガイド」の表示ができます。

CD-ROM メニュー画面：



1	［マニュアル表示］	「Network ScanGear インストールガイド」を参照するとき、最初にクリックします。インストール開始後は、インストールガイドを表示できません。
2	［インストール］	スキャナードライバーをインストールするときにクリックします。

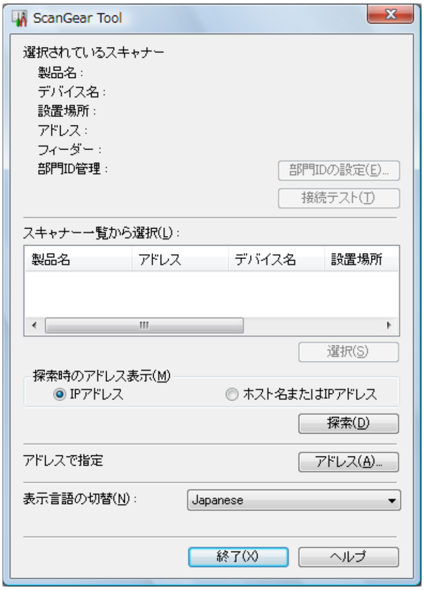
スキャナーを選択する

スキャナードライバーを初めて使うときは、ScanGear Tool でスキャナーの選択をする必要があります。

1.

［ ］（スタート）→［すべてのプログラム］→［Color Network ScanGear］→［ScanGear Tool］を選択します。

ScanGear Tool が起動します。



2. スキャナーを選択します。

»「ネットワーク上のスキャナーを自動検索する：」（→ P. 9-6）
»「スキャナーのＩＰアドレスまたはホスト名を指定する：」（→ P. 9-6）

ネットワーク上のスキャナーを自動検索する：

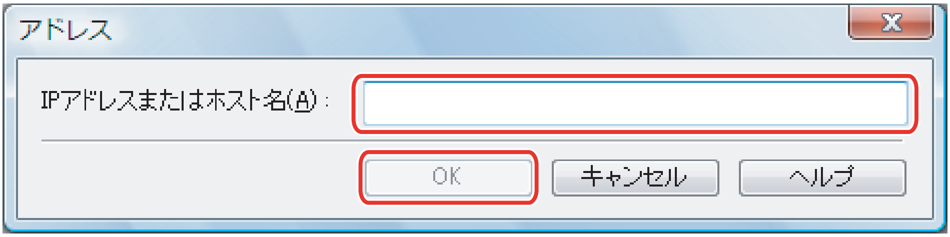
□ ［探索］をクリックし、［スキャナー覧から選択］からスキャナーを選択したあと、［選択］をクリックします。

メモ
サブネット（同一ネットワーク ID を持つネットワーク）内のスキャナーのみ検索されます。

スキャナーのＩＰアドレスまたはホスト名を指定する：

□ ［アドレス］をクリックします。

□ ＩＰアドレスまたはホスト名を入力したあと、［OK］をクリックします。



メモ

- サブネット（同一ネットワーク ID を持つネットワーク）外の IP アドレス・ホスト名も指定できます。
- スキャナーの IP アドレスを指定する場合は、次の形式で入力してください。
  XXX.XXX.XXX.XXX（XXX は、0 ～ 255 の 10 進数。使用可能な文字は、数字（0 ～ 9）、ピリオド（.）です。）
- ホスト名を指定する場合は、「ホスト名」のみの形式でも、「ホスト名＋サブドメイン名＋ドメイン名」の形式でも可能です。
  ホスト名のみの入力例）Sever1234
  ホスト名＋サブドメイン名＋ドメイン名の入力例）Server1234.canon.co.jp
- ＩＰアドレスまたはホスト名の確認方法については、本体付属のマニュアルを参照してください。

3. ［選択されているスキャナー］の情報を確認したあと、［終了］をクリックします。

選択したスキャナーが使用できるかどうかを確認するには、［接続テスト］をクリックします。

メモ
• ScanGear Tool は、スキャナードライバーと同時に起動させることはできません。 • お使いの OS など、環境によって画面が異なることがあります。

スキャンする前に

10
CHAPTER

このセクションでは、コンピューターからスキャンする方法について説明します。

スキャナーのオンライン／オフラインを切り替える

スキャンした画像をコンピューターに取り込むときは、本体のリモートスキャナー機能をオンラインに設定します。

スキャンのあと、コピーやファクスなど他の機能を使用するときは、リモートスキャナーをオフラインに設定します。

» 「スキャナーをオンラインにする」（→ P. 10-2）
» 「スキャナーをオフラインにする」（→ P. 10-3）

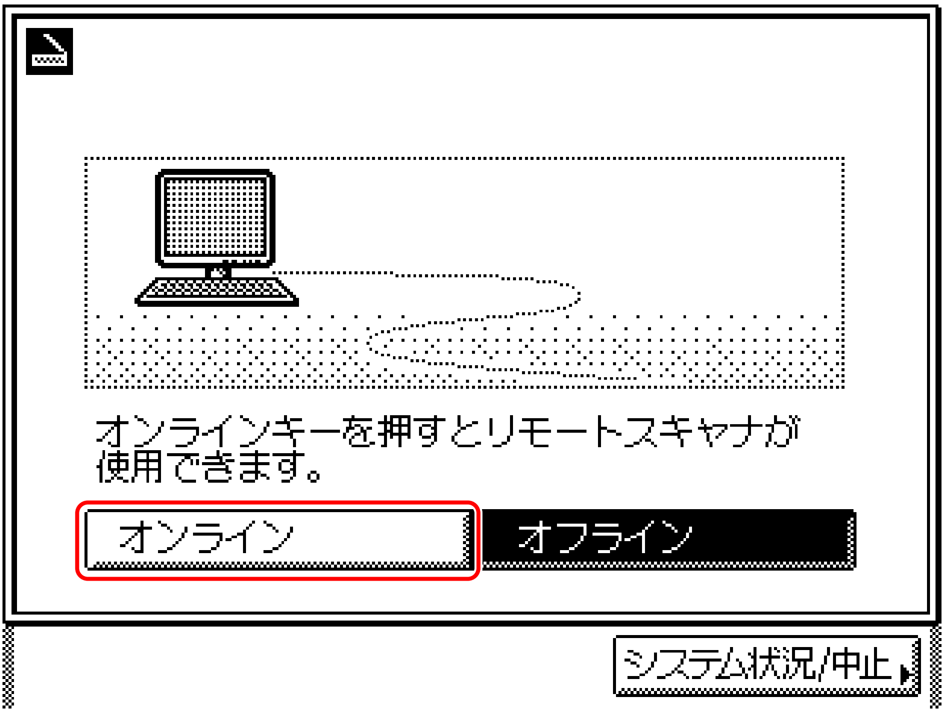
スキャナーをオンラインにする

1.

［リモートスキャナ］を押します。

2.

［オンライン］を押します。



スキャナーがオンラインになります。

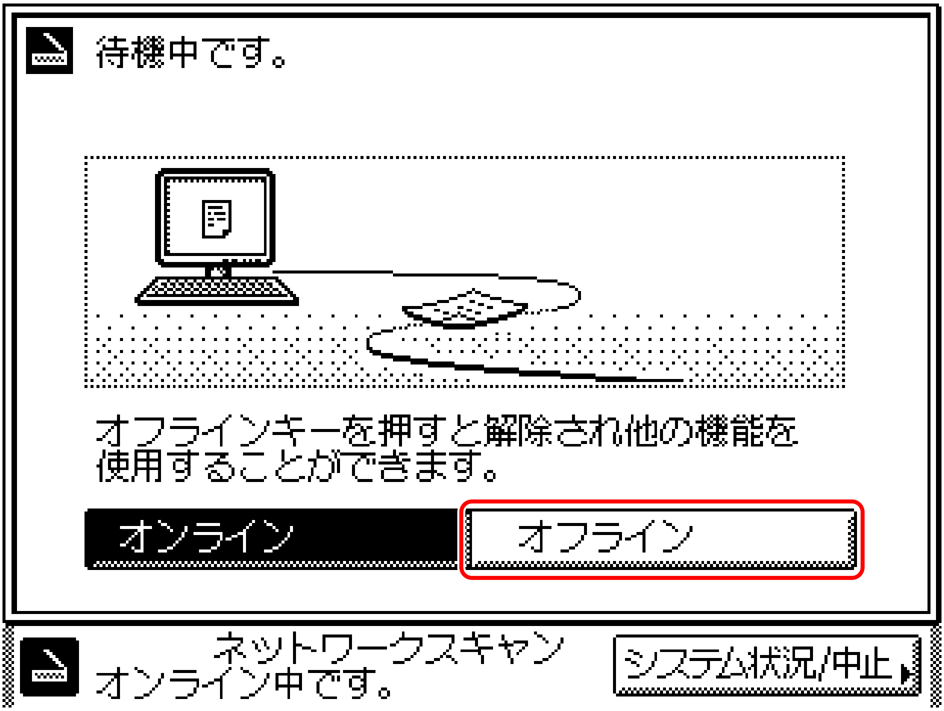
メモ
お使いの機種によっては、自動オンラインを設定することもできます。（→「ユーザーズガイド」）

スキャナーをオフラインにする

リモートスキャナー機能を使用したあと、コピーやファクスなど他の機能を使用するためには、スキャナーをオフラインにします。

1.

リモートスキャン画面で［オフライン］を押します。



スキャナーがオフラインになります。

メモ
• お使いの機種によっては、自動オフラインを設定することもできます。（→「ユーザーズガイド」） • データ転送中には、スキャナーをオフラインにしなくても、他の機能を使用できます。 • スキャン中に［オフライン］を押した場合は、スキャン中止を確認するダイアログボックスが表示されます。［はい］をクリックするとスキャンが中断され、スキャナーがオフラインになります。

スキャナードライバーを起動する

スキャナードライバーは、TWAIN 対応アプリケーションソフトウェア（Adobe Photoshop、Adobe Acrobat、Microsoft Office 2000 以降の Word/Excel/PowerPoint など）から起動します。

メモ
スキャナードライバーを起動する手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の使用説明書を参照してください。

1.

スキャナー本体をオンラインにします。

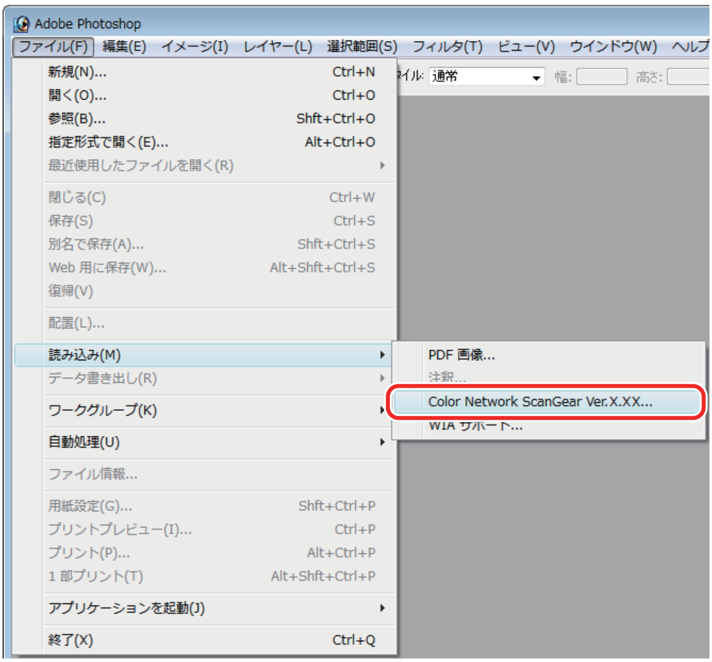
詳細は「スキャナーをオンラインにする（→ P. 10-2）」を参照してください。

2.

アプリケーションソフトウェアで、スキャナーとして Color Network ScanGear を選択します。

スキャナーを指定するコマンド（「スキャナーの指定」や「TWAIN 対応機器の選択」など）を選択して、「Color Network ScanGear」を選択します。

たとえば、Adobe Photoshop をお使いの場合は、［ファイル］メニューから［読み込み］－［Color Network ScanGear］を選択します。



Color Network ScanGear の画面が表示されます。

メモ
「スキャナーが選択されていません」のメッセージが表示された場合は、「スキャナーを選択する」を参照してスキャナーを選択したあと、再度スキャナードライバーを起動する操作を行ってください。

基本的なスキャン方法

11
CHAPTER

このセクションでは、様々なスキャン操作について説明します。

基本的なスキャン方法

本体でスキャンした画像をコンピューターに取り込む、基本的な操作の流れを説明します。

» 原稿台からスキャンする（→ P. 11-3）
» フィーダーからスキャンする（→ P. 11-6）
» ヘルプを表示する（→ P. 11-9）

原稿台からスキャンする

1.

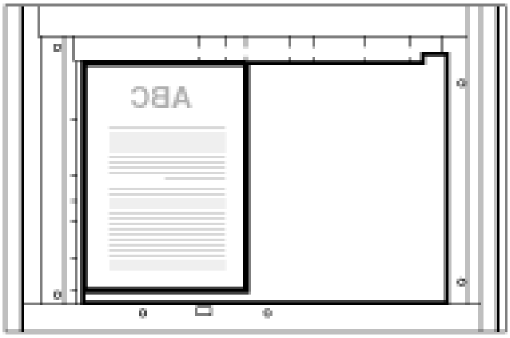
スキャナー本体をオンラインにします。

詳細は、「スキャナーをオンラインにする（→ P. 10-2）」を参照してください。

2.

原稿台に、読み込む面を下向きにして原稿をセットします。

原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角をあわせてセットします。



メモ
フィーダーを使ってスキャンしたあとに原稿台からスキャンするときは、原稿台カバーを確実に上げて原稿をセットしてください。

3.

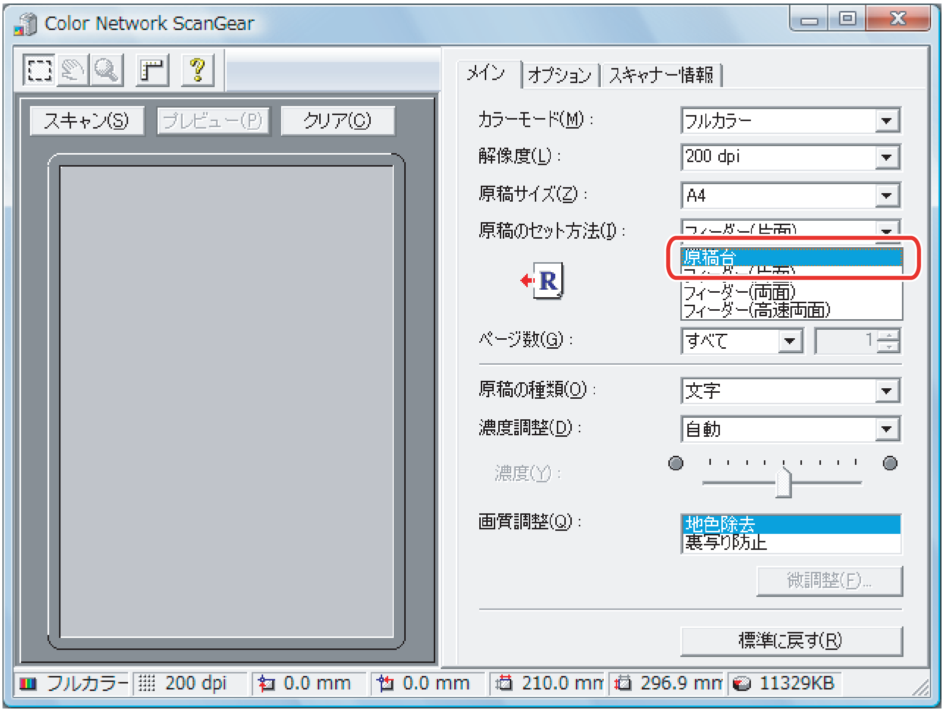
アプリケーションソフトウェアから Color Network ScanGear を起動します。

スキャナードライバーは、TWAIN 対応アプリケーションソフトウェア（Adobe Photoshop、Adobe Acrobat、Microsoft Office 2000 以降の Word/Excel/PowerPoint など）から起動できます。

アプリケーションソフトウェアでスキャナーを指定するコマンド（「スキャナーの指定」や「TWAIN 対応機器の選択」など）を選択して、「Color Network ScanGear」を選択します。

メモ
「スキャナーが選択されていません」のメッセージが表示された場合は、「スキャナーを選択する（→ P. 9-5）」を参照してスキャナーを選択したあと、再度スキャナードライバーを起動する操作を行ってください。

4.
［原稿のセット方法］から［原稿台］を選択します。



5.
［メイン］ページで、原稿や目的に応じたスキャン条件を設定します。

6.
プレビューを表示する場合は、［プレビュー］をクリックします。

プレスキャンされた画像をもとに、下記のことができます。

- ツールバーを使って画像を拡大表示したり、［オプション］ページの設定項目で画像を調整できます。

7.
［スキャン］をクリックします。

スキャンが開始されます。

スキャンが終了すると、Color Network ScanGear の画面が閉じ、スキャンした画像がアプリケーションソフトウェアに転送されます。

重要
• ［スキャン］をクリックしたあと、スキャンの進み具合を示すダイアログボックスが表示されるまでは Color Network ScanGear の画面での操作を行わないでください。 • 必ず Color Network ScanGear の画面を閉じてから、アプリケーションソフトウェアを終了させてください。

メモ
• スキャナードライバーを初めて使うときは、あらかじめ ScanGear Tool でスキャナーを選択しておく必要があります。詳細は、「スキャナーを選択する（→ P. 9-5）」を参照してください。 • アプリケーションソフトウェアによっては、スキャン終了後に Color Network ScanGear の画面が閉じないことがあります。この場合は、[]（終了）をクリックすると画面が閉じます。 • お使いの機種によって、設定できる項目または値の範囲は異なります。

フィーダーからスキャンする

フィーダーを使用すると、複数ページの原稿を連続してスキャンできます。

1.
スキャナー本体をオンラインにします。

詳細は、「スキャナーをオンラインにする（→ P. 10-2）」を参照してください。

2.
フィーダーに原稿をセットします。

3.
アプリケーションソフトウェアから Color Network ScanGear を起動します。

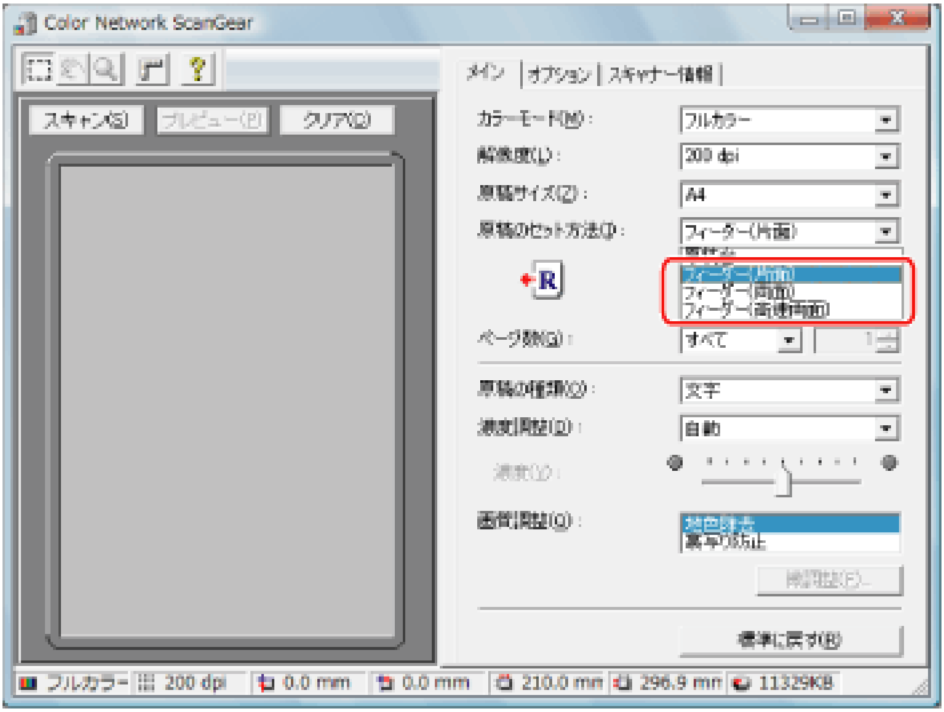
スキャナードライバーは、TWAIN 対応アプリケーションソフトウェア（Adobe Photoshop、Adobe Acrobat、Microsoft Office 2000 以降の Word/Excel/PowerPoint など）から起動できます。
アプリケーションソフトウェアでスキャナーを指定するコマンド（「スキャナーの指定」や「TWAIN 対応機器の選択」など）を選択して、「Color Network ScanGear」を選択します。

メモ
「スキャナーが選択されていません」のメッセージが表示された場合は、「スキャナーを選択する（→ P. 9-5）」を参照してスキャナーを選択したあと、再度スキャナードライバーを起動する操作を行ってください。

4.

［原稿のセット方法］から読み取る面を選択します。

原稿の片面だけを読み取るときは、［フィーダー（片面）］を選択します。
両面原稿を読み取るときは、［フィーダー（両面）］または［フィーダー（高速両面）］を選択します。



5.

［原稿向き設定］をクリックしたあと、原稿の送り方向を指定します。

両面原稿を読み取るときは、［開き方向］で原稿の開き方も指定します。詳細は、「原稿を正立でスキャンする（→ P. 11-13）」を参照してください。

6.

［メイン］ページで、原稿や目的に応じたスキャン条件を設定します。

ユーザー設定用紙をスキャンするときは、［原稿サイズ］から［ユーザー設定］を選択してください。

7.

［スキャン］をクリックします。

スキャンが開始されます。

スキャンが終了すると、Color Network ScanGear の画面が閉じ、スキャンした画像がアプリケーションソフトウェアに転送されます。

重要
•［スキャン］をクリックしたあと、スキャンの進み具合を示すダイアログボックスが表示されるまでは Color Network ScanGear の画面での操作を行わないでください。 •必ず Color Network ScanGear の画面を閉じてから、アプリケーションソフトウェアを終了させてください。 •フィーダーからスキャンした原稿にスジや汚れがつく場合は、フィーダーのローラー部を清掃してください。

メモ
•フィーダーからスキャンする場合は、プレビューはできません。 •スキャナードライバーを初めて使うときは、あらかじめ ScanGear Tool でスキャナーを選択しておく必要があります。詳細は、「スキャナーを選択する（→ P. 9-5）」を参照してください。 •アプリケーションソフトウェアによっては、スキャン終了後に Color Network ScanGear の画面が閉じないことがあります。この場合は、[]（終了）をクリックすると画面が閉じます。 •お使いの機種によって、設定できる項目または値の範囲は異なります。

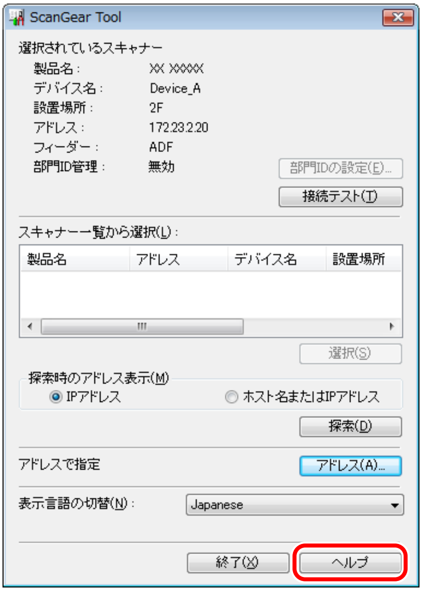
ヘルプを表示する

ヘルプには、すべてのリモートスキャナー機能について説明があります。本マニュアルに記載されていない機能の説明や設定方法を調べたいときは、ヘルプをご利用ください。

» 「ScanGear Tool の画面からヘルプを表示する」(→ P. 11-9)
» 「Color Network ScanGear の画面からヘルプを表示する」(→ P. 11-11)

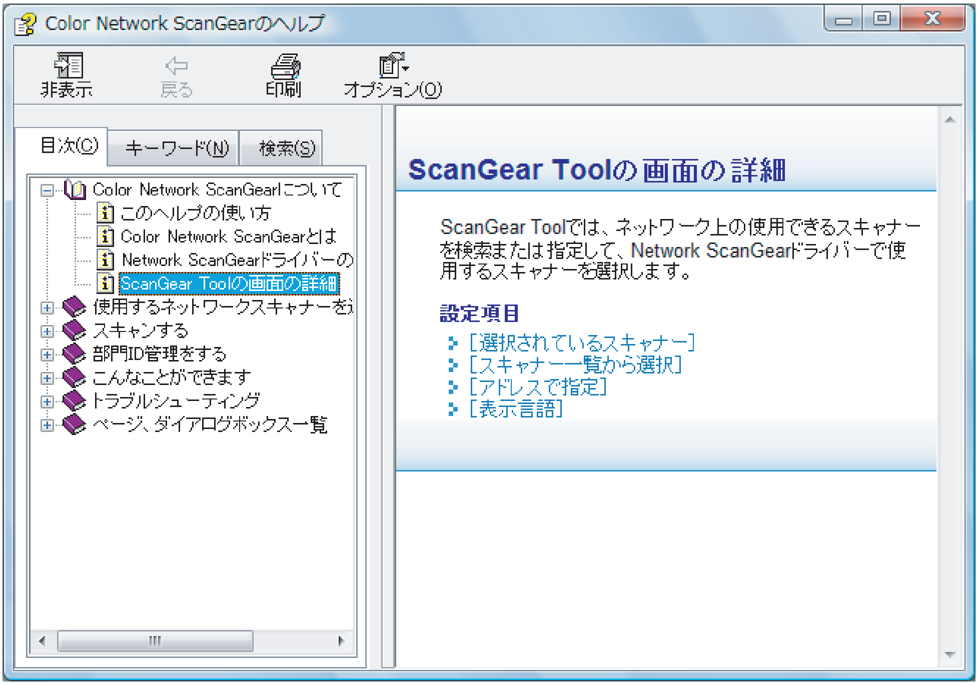
ScanGear Tool の画面からヘルプを表示する

1.
[ヘルプ]をクリックします。



ScanGear Tool 画面の表示方法については、「スキャナーを選択する(→ P. 9-5)」を参照してください。

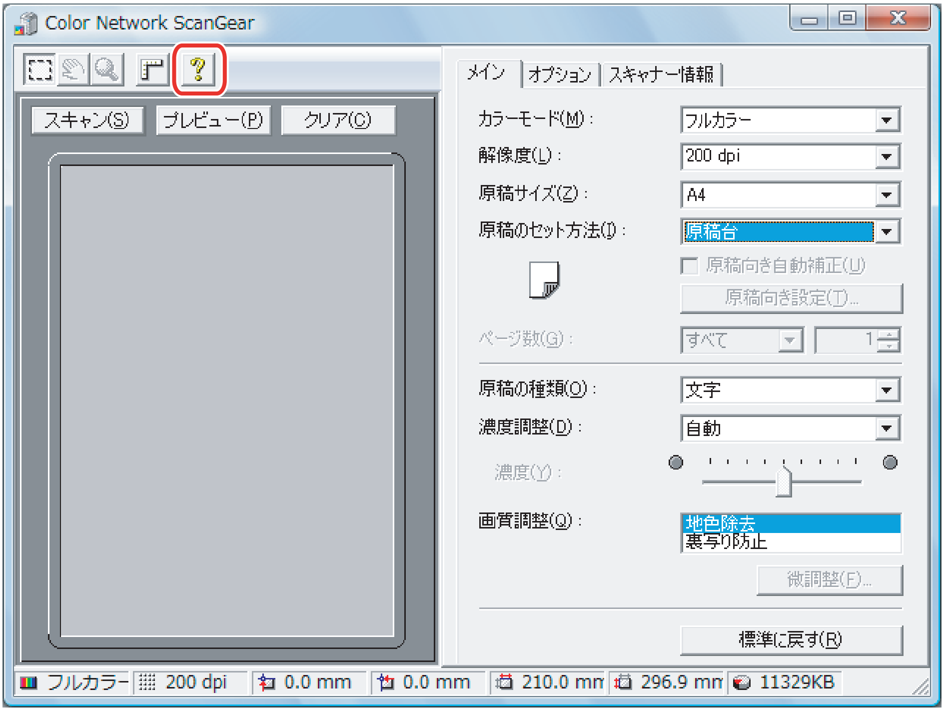
ヘルプが表示されます。



トピックペイン (右側のウィンドウ)	：説明が表示されます。
ナビゲーションペイン (左側のウィンドウ)	:調べたい内容を検索するとき、[検索] ／ [キーワード] ／ [目次] をクリックします。

Color Network ScanGear の画面からヘルプを表示する

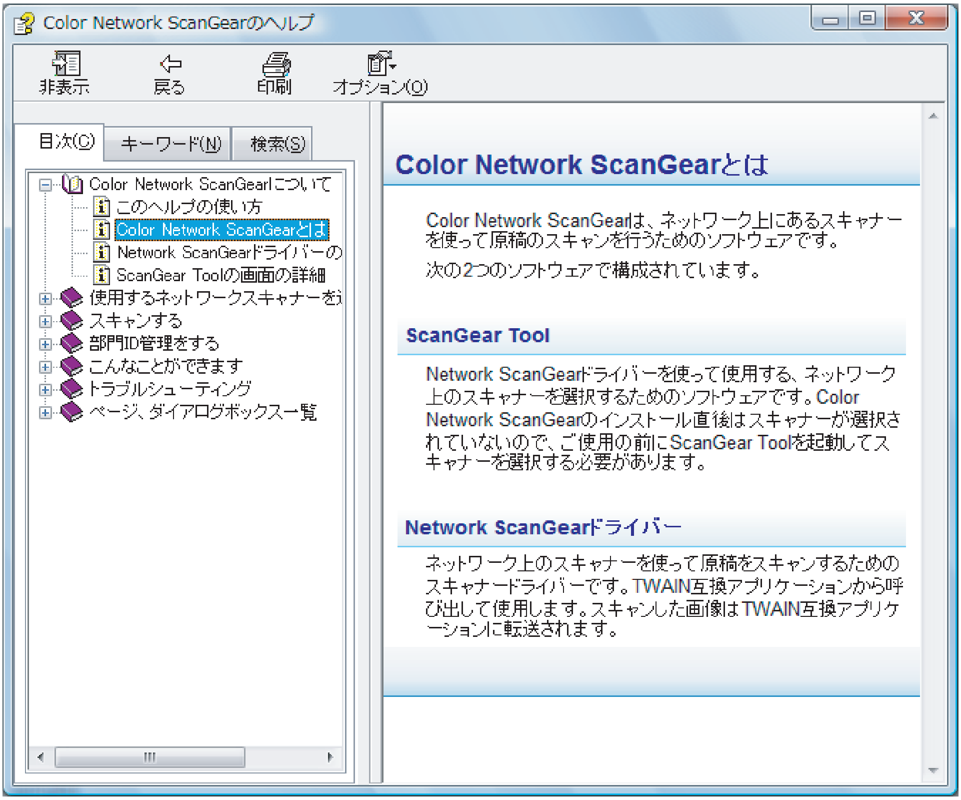
1.
［?］をクリックします。



スキャナードライバーは、TWAIN 対応アプリケーションソフトウェア（Adobe Photoshop、Adobe Acrobat、Microsoft Office 2000 以降の Word/Excel/PowerPoint など）から起動できます。

アプリケーションソフトウェアでスキャナーを指定するコマンド（「スキャナーの指定」や「TWAIN 対応機器の選択」など）を選択して、「Color Network ScanGear」を選択します。

ヘルプが表示されます。



トピックペイン（右側のウィンドウ）	：説明が表示されます。
ナビゲーションペイン（左側のウィンドウ）	：調べたい内容を検索するとき、[検索] ／ [キーワード] ／ [目次] をクリックします。

メモ

- ScanGear Tool とスキャナードライバー（Color Network ScanGear）は同時に起動できません。
- お使いの OS など、環境によって画面が異なることがあります。

原稿を正立でスキャンする

フィーダーからスキャンする場合、コンピューターの画面上で正立して表示するように設定することができます。

1.

スキャナーをオンラインにし、フィーダーに原稿をセットしたあと、アプリケーションソフトウェアから Color Network ScanGear を起動します。

詳しい手順は、「フィーダーからスキャンする（→ P. 11-6）」を参照してください。

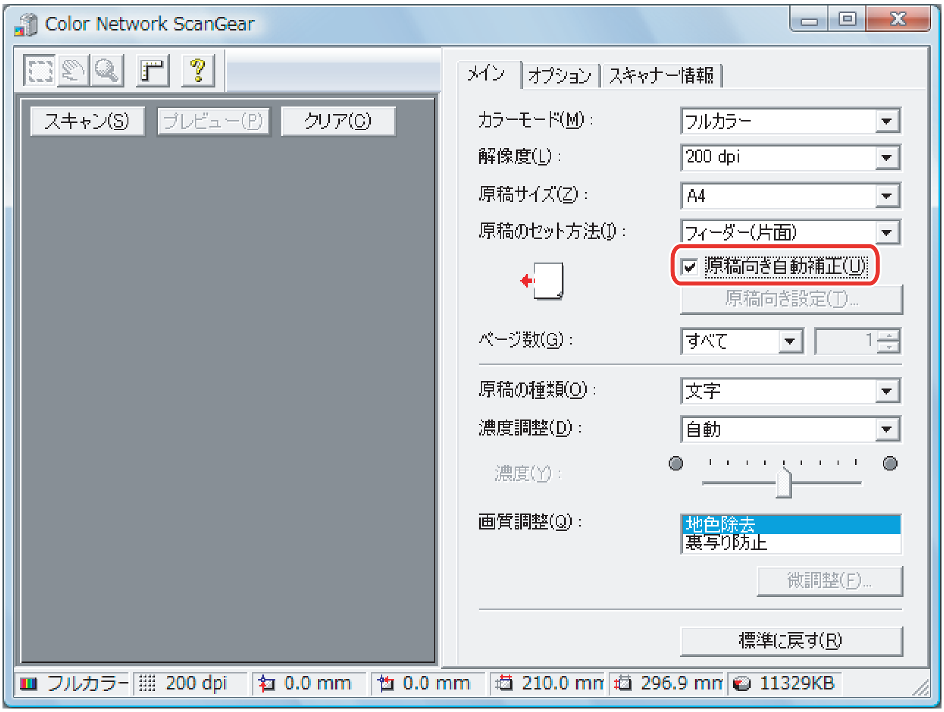
2.

［原稿のセット方法］を設定します。

» 「［原稿向き自動補正］を使用する」（→ P. 11-13）
» 「［原稿向き設定］を使用する」（→ P. 11-14）

［原稿向き自動補正］を使用する

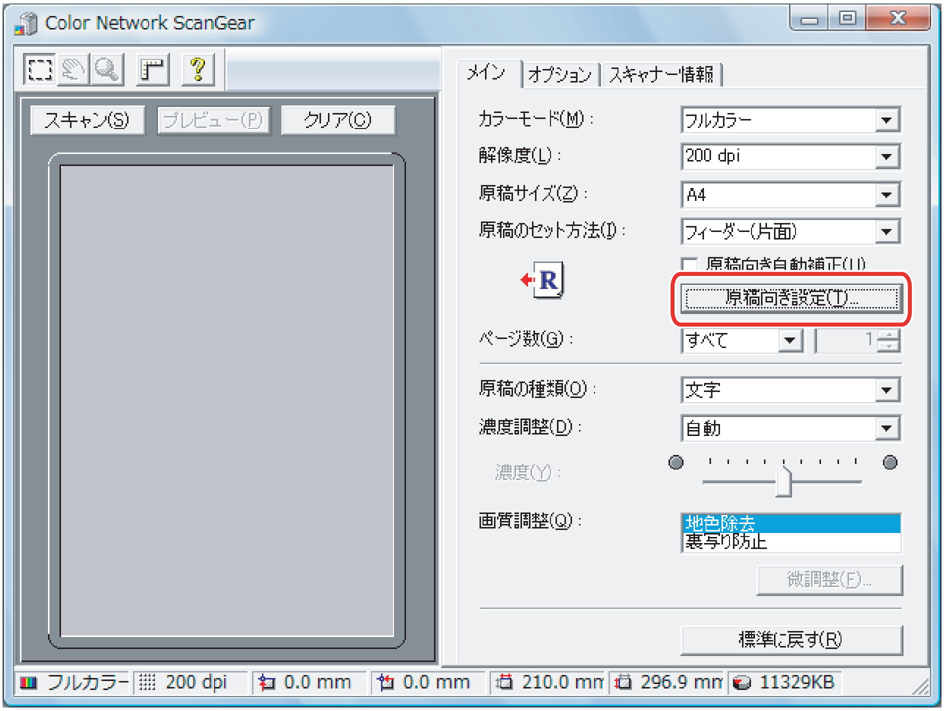
☐ ［原稿向き自動補正］にチェックチェックマークを付けます。



スキャン時に原稿の向きを検知して、スキャン画像がコンピューターの画面上で正立するように自動的に回転されます。

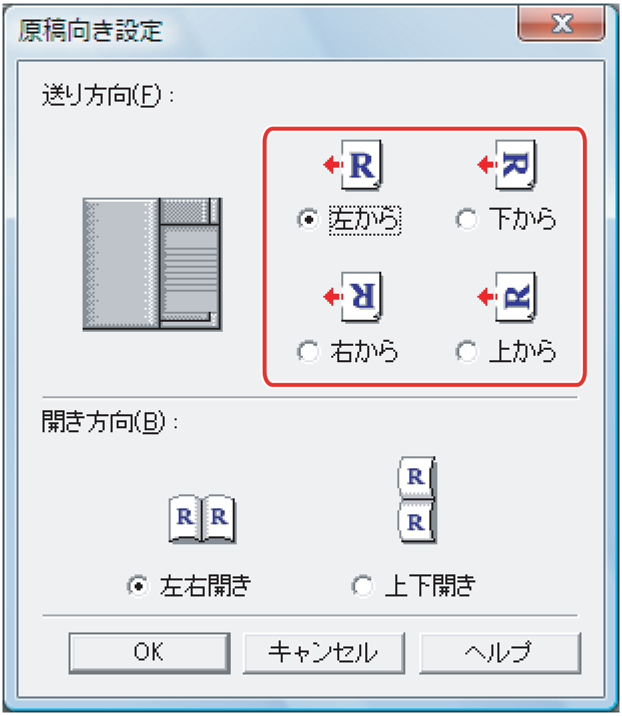
［原稿向き設定］を使用する

☐ ［原稿向き設定］をクリックします。



☐ ［送り方向］で原稿の送り方向を指定します。

両面原稿を読み取るときは、［開き方向］で原稿の開き方も指定します。



☐ ［OK］をクリックします。

メモ
お使いの OS など、環境によって画面が異なることがあります。

異なるサイズの用紙を一度にスキャンする

用紙サイズが異なる原稿をまとめてフィーダーにセットして一度にスキャンできます。

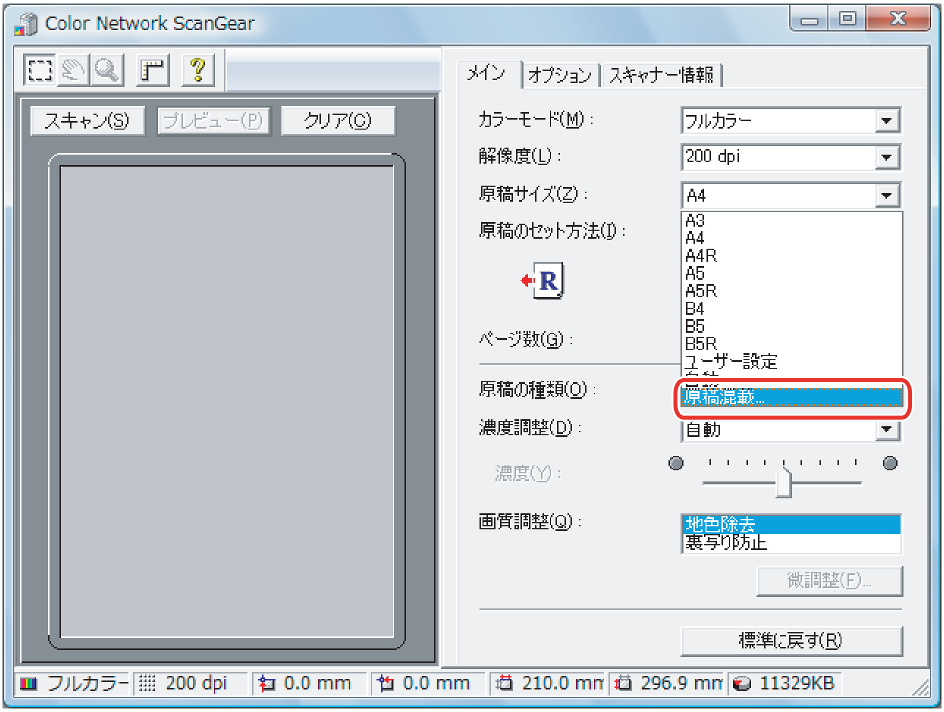
1.

スキャナーをオンラインにして、フィーダーに原稿をセットしたあと、アプリケーションソフトウェアから Color Network ScanGear を起動します。

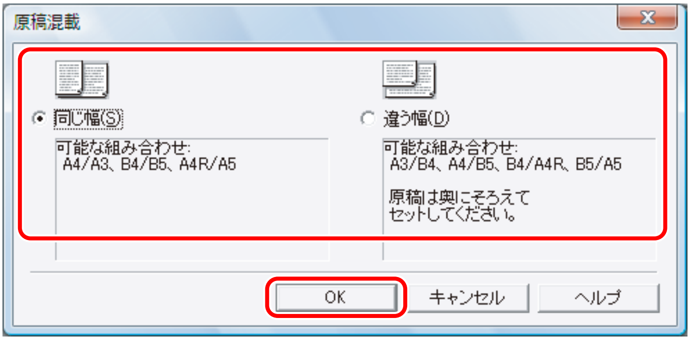
詳しい手順は、「フィーダーからスキャンする（→ P. 11-6）」を参照してください。

2.

［原稿サイズ］から［原稿混載］を選択します。



3. 原稿サイズの組み合わせ選択したあと、［OK］をクリックします。



可能な組み合わせのリストを参考にして、該当する組み合わせを選択します。

• ［同じ幅］	A3 と A4 などのように、大きいサイズの短辺と小さいサイズの長辺が同じ幅の用紙を組み合わせるときに選択します。
• ［違う幅］	A3 と B4 などのように、同じ長さの辺がない用紙を組み合わせるときに選択します。

メモ

- 非定型用紙をお使いの場合は、［メイン］ページの［原稿サイズ］で［ユーザー設定］を選択してください。また、そのときは各用紙の幅は同じである必要があります。
- お使いの OS など、環境によって画面が異なることがあります。

部門 ID 管理をする

部門 ID 管理機能を使用すると、特定のグループ（部門、ユーザーなど）ごとにスキャン枚数を管理できます。

スキャン時に自動認証するように、あらかじめ認証情報を設定することができます。また、スキャンのたびに認証情報を入力するように設定することもできます。

» あらかじめ部門 ID と暗証番号を設定する（→ P. 11-19）
» スキャン時に部門 ID と暗証番号を入力する（→ P. 11-21）

重要
部門 ID 管理を行うには、あらかじめスキャナー本体で部門 ID と暗証番号が登録され、部門 ID 管理機能が有効になっている必要があります。

あらかじめ部門 ID と暗証番号を設定する

あらかじめ ScanGear Tool で部門 ID と暗証番号を保存しておくと、保存した情報により自動認証してスキャンできます。

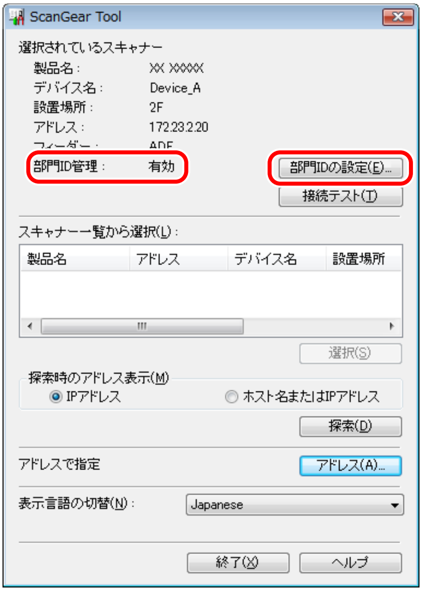
1.

ScanGear Tool を起動したあと、スキャナーを選択します。

詳しい手順は、「スキャナーを選択する（→ P. 9-5）」を参照してください。

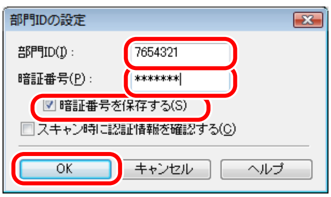
2.

［部門 ID 管理］が「有効」になっていることを確認したあと、［部門 ID の設定］をクリックします。



3.

［暗証番号を保存する］にチェックマークを付けて、［部門 ID］と［暗証番号］を入力したあと、［OK］をクリックします。



本体で暗証番号を登録していない場合、［暗証番号］は空欄にします。

4.
ScanGear Tool の［終了］をクリックします。

メモ
お使いの OS など、環境によって画面が異なることがあります。

スキャン時に部門 ID と暗証番号を入力する

スキャン開始前に、認証情報を確認するダイアログボックスを表示させます。スキャナー本体で登録されている部門 ID と暗証番号を入力すると、スキャンを開始します。

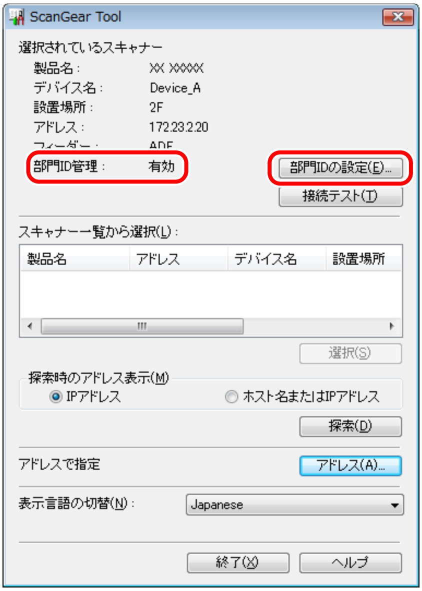
1.

ScanGear Tool を起動したあと、スキャナーを選択します。

詳しい手順は、「スキャナーを選択する（→ P. 9-5）」を参照してください。

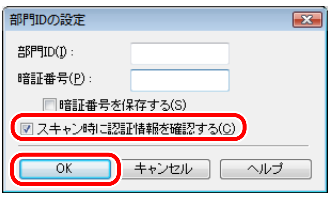
2.

［部門 ID 管理］が「有効」になっていることを確認したあと、［部門 ID の設定］をクリックします。



3.

［スキャン時に認証情報を確認する］にチェックマークを付けたあと、［OK］をクリックします。



4.

ScanGear Tool の［終了］をクリックします。

5.

本体に原稿をセットしたあと、アプリケーションソフトウェアから Color Network ScanGear を起動します。

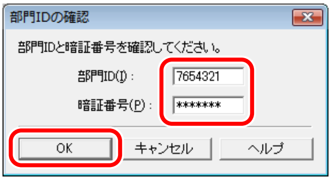
詳しい手順は、「原稿台からスキャンする（→ P. 11-3）」または「フィーダーからスキャンする（→ P. 11-6）」を参照してください。

6.

［メイン］ページで必要な項目を設定したあと、［スキャン］をクリックします。

7.

［部門 ID］と［暗証番号］を入力したあと、［OK］をクリックします。



本体で暗証番号を登録していない場合、［暗証番号］は空欄にします。

メモ
お使いの OS など、環境によって画面が異なることがあります。

トラブルが発生したら

原稿の下地がスキャンされてしまう

1. ［メイン］ページの［濃度調整］で［手動］を選択して、［画質調整］で［地色除去］を選択します。

2. ［微調整］をクリックして［地色除去の調整］ダイアログを表示させ、各色のスライダーを動かして地色の濃度を調整します。

原稿の裏面が写ってスキャンされてしまう

1. ［メイン］ページの［濃度調整］で［手動］を選択して、［画質調整］で［裏写り防止］を選択します。

2. ［微調整］をクリックして［裏写り防止の調整］ダイアログを表示させ、スライダーを動かして裏写りをとばすレベルを調整します。

原稿の周囲の影がスキャンされてしまう

プレビュー領域でマウスを右クリックしたあと、［原稿枠消し］で［する］を選択します。

100% まで原稿を読み込んだ後、スキャンが止まり、読み込みに時間がかかる

Windows ファイアウォール機能を持っている OS で設定を有効にしていると、スキャン完了までに時間がかかる場合があります。ファイアウォールの [例外] ページで UDP ポートが例外登録されているか確認してください。通常はインストール時に自動で例外登録されます。例外登録されていない場合は、手動で例外登録をしてください。

[名前]：任意の名称

[ポート番号]：56338

[プロトコル]：[UDP] を選択

Windows 7 の場合 :

1 [ ]（スタート）→ [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [Windows ファイアウォール] → [詳細設定] をクリックします。

2 [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] ページで、[受信の規則] を選択し、[新しい規則] をクリックします。

3 [新規の受信の規則ウィザード] で、[ポート] を選択し、[次へ] をクリックします。

4 [UDP] を選択し、[特定のローカルポート] に 56338 を入力して、[次へ] をクリックします。

5 [接続を許可する] を選択し、[次へ] をクリックします。

6 [プライベート] のみチェックし、[次へ] をクリックします。

7 [名前] に任意の名称を入力し、[完了] をクリックして、[新規の受信の規則ウィザード] を閉じます。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合 :

1　[ ] （スタート）→ [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。

2　[Windows ファイアウォールの設定] ダイアログボックスの [例外] ページで、[ポートの追加] をクリックします。

3　[ポートの追加] ダイアログボックスで、以下の設定を行い、[OK] をクリックします。

- [名前]：任意の名称
- [ポート番号]：56338
- [プロトコル]：[UDP] を選択

4　[OK] をクリックし、[Windows ファイアウォールの設定] ダイアログボックスを閉じます。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合 :

1　[スタート] → [コントロールパネル] → [セキュリティ センター] → [セキュリティの設定の管理] → [Windows ファイアウォール] をクリックします。

2　[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページで、[ポートの追加] をクリックします。

3　[ポートの追加] ダイアログボックスで、以下の設定を行い、[OK] をクリックします。

- [名前]：任意の名称
- [ポート番号]：56338
- [UDP] を選択

4　[OK] をクリックし、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスを閉じます。

メモ
お使いの OS のエディションや環境設定によって、手順が異なります。

Canon

USRM1-8266-00